
マスター学校のハチャメチャ生活！？

クラウド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マスター学校のハチャメチャ生活！？

【Nコード】

N16990

【作者名】

クロウド

【あらすじ】

ここはアニメ、ゲームキャラが生活したり勉強するマスター学園この話はいろんなキャラがはちゃめちやします（笑）
どうも作者です。今作は2作目になります。
ぜひ1作目を読んでみてください。

作者ご登場（前書き）

作者「記念すべき第1話読んでください」

作者ご登場

ここはアニメやゲームのキャラが集まるマスター学校
この学校ではいつもはちゃめちゃんなことが起こる

？「おいエイト」

エイト「なにリンク」

リンク「今日もスマブラで勝負しようぜ！」

なんで自分のゲームで勝負すんだよ

リンク「うつせえ 話すことしかできないくせに」

ああいったなてめえその言葉忘れんなよ

エイト「おいこれ以上いうな」

リンク「知るもんか やゝいやゝいくそ作者くやしかったら俺達と
スマブラ勝ってみろ」

エイト「子供か・・・」

作者「じゃあやってやろうじゃねえか！！」

リンク「なんででてこれんだよ！！！！」

作者「作者だからだよ後この話ではクロウドと呼べ」

リンク「なんでもありかよ（泣）」

エイト「だからいったじゃん」

次回クロウド（作者）とスマブラ対決！？

作者ご登場（後書き）

クラウド「この話は作者も登場します」

リンク「本当にびっくりしたわ」

クラウド「お前が悪口いうからだ」

スマブラ対決！「前編」(前書き)

クラウド「今回スマブラ対決！」
リンク「勝つてやる！」

スマブラ対決！「前編」

今回スマブラ対決

リンク「作者に負けるかあああ（燃）」
クラウド「あ、対戦するキャラこれね」

対戦表

クラウド

リンク

エイト

聖徳太子

エイト「なんで聖徳太子!？」

クラウド「なんとなく」

太子「ははは私は偉いんだぞ ひざまずけ愚民共」

クラウド「だまれ聖徳太子、作者権限で消すよ（黒い笑み）」

太子「すいませんでした（土下座）」

クラウド以外（怖っ）

クラウド「じゃあ実況は妹子、解説にマリオやって」

妹子&マリオ「OK」

リンク「さつさとやろうよ」

クラウド「ごめん忘れてた」

エイト「じゃあWiO起動させるよ」

スマブラキャラ選択

エイト「じゃあ僕は・・・」

ピット!!

リンク「本気でいくぜ!!」

リンクー！！

エイト「なんで自分！？」

太子「やっぱナルシスト・・・」

リンク「違う！ただちよつと自分が好きなだけだ！」

リンク以外（それをナルシストって言うんだよ・・・）

太子「じゃあ私は・・・」

マルス！！

妹子「なんですか太子」

太子「偉そうだし・・・かつこいいし・・・」

マルス（そんな理由でこんなバカに選ばれたのか）

クラウド「じゃあおれは・・・」

○ナルド！！

クラウド以外「いやいやいやいやいや」

クラウド「冗談だよ」

カービー！！

エイト「びっくりしたあゝ」

リンク「そもそもなんで○ナルドがあるんだよ」

クラウド「なんとなくだよ」

太子「ステージは・・・」

全員「神殿！！」

リンク「じゃあ神殿ね」

ワアアアアアア

次回後編！

スマブラ対決！「前編」（後書き）

クラウド「どうでしたか？ゲーマーというのは恐ろしいですね
あなたもこうなるかもしれませんよ？」

エイト「世にも奇妙な○語かつ！」

テュルルルテュルルルルテュルルルルットウテュルルルルル
ルル

エイト「だからって曲流すな！」

スマブラ対決！「後編」(前書き)

クラウド「今回決着です」

リンク「絶対負けない」

クラウド「書き忘れましたがストック制の3個です」
リンク「無視！？」

スマブラ対決！「後編」

スマブラ対決の続編

5、4、3、2、1、GO！

太子「わはははは私の強さを見せ付けて・・・」

リンク&クラウド「死ね」

カービィに吸い込まれ吐き出されリンクの下突きで落ちた
ドッカン

エイト「後2個」

太子「ちょひどいでおま！」

クラウド「邪魔したら殺すぞ」

太子「すいませんでした」

エイト「隙あり」

太子「えっ？」

ピットにエンジェリングされたあと横B最大チャージ吹っ飛んだ
妹子「おーっと太子あと1個です」

マリオ「さっさと落ちればいいのに」

太子以外「そうだねあのノーパン太子さっさと落ちればいいのに」

太子「みんなひどっ！」

エイト&クラウド「隙あり！」

太子「えっ？また・・・」

カービィにストーンされピットに弓連呼され落ちる
太子「ちくしょー」

妹子「太子落ちましたねどう思いますか？皆さん」

太子以外「いい気味だ」

太子「みんな死んじゃえええええええ（泣）」

太子は自分の部屋へ帰っていった（時速40km）

エイト「さてとだれからやろうかな」

クラウド「コピー」

エイト「うわひどっ、このやる」

リンク「俺もいるぜ」

エイト「う、うわああああ」

ドッカーン

この後結局エイトはやられてしまいエイトとリンクの一騎打ちになった（ストック1個）

リンク「このときがきたな」

クラウド「おれに挑んだことを後悔しろ」

ブチッ

全員「消したのだれだああああ」

オオカミ男「ゲームは1日1時間！」

全員「ふざけんなああああああああ」

オオカミ男は全治100日になりました

リンク「次こそは決着つけてやる」

クラウド「のぞむところだ」

続く

スマブラ対決！「後編」(後書き)

クラウド「オオカミ男はギャグマンガ日和のです」
全員「感想、評価お待ちします」

晩御飯で・・・（前書き）

クロウド「今回晩御飯で大変なことが起こりました」

スネーク「諜報員の血がうずく」

クロウド「それではどうぞ」

スネーク「無視!？」

晩御飯で・・・

晩御飯の時間

カービー「わーいご飯だあ」

エイト「この飯うまいんだよね」

クラウド「あ、ちなみに晩御飯の形式は」

- ・バイキング形式
 - ・和食、洋食、中華の3種類がある
 - ・コックはサンジとツナの母さん
- 以上！

ゾロゾロゾロ

ルフィ「飯だ飯だ」

アレン「早く食べたい」

バジル「せっしや日本の料理が食べたいです」

アイク「肉・・・」

トリコ「いっぱい食うぞ」

悟空「腹減った」

ベジータ「カカロット貴様には負けん」

悟飯「まあまあベジータさん」

弥子「バイキング」

トレイン「この飯食うの楽しみなんだよな」

神楽「いっぱい食うね」

神威「そうだね神楽」

ヨッシー「卵が食いたいって共食いかっ！」

マリオ「大食いキャラ勢ぞろいだな」

ルイーダ「ていうか1匹のり突っ込みしてるし

クラウド「ちょうどいいから今から大食い大会を開催する!!」
クラウド以外「いきなりだな!!」
クラウド「いいんだよこの小説も思い付きで書いてるから」
クール「読者に失礼でしょうが(怒)」
クラウド「大丈夫だよ全然読者いないし」
ルー死「だからそういう問題じゃないでしょうが!!」
クラウド「お前だれだあああああ」
ダダダダダダダダ
ルー死「ぐはあ　む、無念」バタッ
ルー死はAKI47(マシンガン)で撃たれて死んだ
アレン「なんであんなキャラがいんだよ!!」
銀時「するか作者に聞け作者に」
エイト「なんであんなキャラが?」
クラウド「俺も知らん!」
カービー「クラウドまだあゝ」
クラウド「ごめん忘れてた」
フィッシュ竹中「早く始めよう」
妹子「フィッシュ竹中さん来てたんだ・・・」
太子「とりあえず始めるでおま」
クラウド「指図すんな下衆が」
太子「すいませんでした(泣)」

続く

晩御飯で・・・（後書き）

クラウド「こんな話を作ったという声があったら作ります」
エイト「あとリクエストこんなキャラもというのにもお応えします」

大食い大会!!「前編」(前書き)

クラウド「ゲストキャラ出演!!」

大食い大会！！「前編」

あらずじ

突如大食い大会が開催されました。

クラウド「ではこれから大食い大会を開始する」

カービィ「がんばる！！」

悟空「わくわくすんな」

選手たちはやる気十分のようだ

マリオ「実況とかは俺らがやるぜ！！」

？「まってくれ」

いきなり声が聞こえたのでちょっとざわついている

赤キノピオ「ぼくは実況の赤キノピオです」

青キノピオ「ぼくは電車好きの青キノピオです」

黄キノピオ「わいはたこ焼き好きな黄キノピオや」

緑キノピオ「おれは緑キノピオだ」

黒キノピオ「おれは刑事の黒キノピオだ」

エイト「5人合わせて？」

赤、青、黄、緑、黒キノピオ「キノピオレンジャー！！・・・って
ちがうわー！！」

レンジャー呼ばわりされたキノピオたちは少々怒っている

クラウド「kさんからのリクエストで登場しました」

エイト「ちょうどいいから赤キノピオ実況やってくんない？」

赤キノピオ「はい分かりました（嬉）」

赤キノピオの機嫌が戻ったようだ

クロウド「それじゃあはじめよう、フィッシュ竹中さん」
フィッシュ竹中「よい始め」ドゴーン
ドラをたたくとおもったらその上の魚の所をたたいた
フィッシュ竹中以外「ドコたたいてんだよ!!」
フィッシュ竹中さん以外ずっとこけた

大食い大会！！「前編」（後書き）

クラウド「今回はsibugakiさんからのリクエストです」
エイト「またかよ！！」

大食い大会！！「後編」(前書き)

クラウド「今回チャレンジャーが！」

エイト「前の話に書き忘れただけでしょ？」

クラウド「よくわかったね」

エイト「そうなの！？(半信半疑だった)」

大食い大会！！「後編」

大食い大会の後編なり～

クラウド「じゃあはじめの言葉お願いします」

太子「え～皆いつぱい食べよう！」

クラウド「はい大会に移りましょう」

太子「無視！？」

？×4「ちよつとまった！！」

前回同様 謎の声が聞こえた

魔王「面白そうじゃない」

ピッケル「どうもその魔王の息子のピッケルです」

フィニ「大食い大会って聞いて来ました」

グレイ「おいしいもの食べれるんだって（嬉）」

クラウド「例によってその魔王さんとピッケル君はs i b u g a
k iさんのリクエスト

フィニとグレイは大食いキャラにいいかな～と黒執事読んで思った
から登場」

クラウド以外「てきとうだなおい！！」

魔王&ピッケル「はは、どうぞよろしく」

クラウド「じゃあルール説明をする！！」

クラウド以外「切り替え早っ！！」

クラウド「ではルール説明を新人の小松シェフよろしく」

小松「え～とルールはとにかく皿にどんなものでもいいから1kg
のせて食べ量を競うこと+

制限時間は作者の都合により30分です」

フィッシュ竹中「前回同様初めっ」 ドゴーン

トリコ「おお、宝石の肉あるじゃん!!」

バジル「寿司がたくさんでござる」

カービィ「食べるぞ」

弥子「スープかゝドーピングコンソメスープをおもいだすなあ」

20分後

赤キノピオ「おゝとっ全員食べる速度が落ちない、それどころか早くなっている!!」

アレン「ずっと食べてると余計はら減っちゃって・・・」

大食いキャラ「わかるその気持ち」

赤キノピオ「信じられないことをいつています!!」

更に5分後

赤キノピオ「全ての選手食べてる皿が10万皿越えているー

カービィなら分かるけど人間がこんなにたべるなんて怖い」

赤キノピオ「さあ試合終了まであと5秒!!5、4、3、2、1、」

フィッシュ竹中「そこまで!!」

赤キノピオ「さあ今審査員がさらを数えています おつと結果が出たようです」

結果

カービィ	50万皿
ルフィ	90万皿
アレン	60万皿
バジル	42万皿
アイク	15万皿

大食い大会！！「後編」（後書き）

クラウド「sibugakiさんすいません勝手に設定つけて！！
大食い大会なものですからそれ以外思いつかなかったんです（泣）」

放課後の事件（前書き）

クロウド「うぜえ奴が事件を起こしたんだ」
エイト「たくついまおもいだしても腹が立つ（怒）」
リンク「そのとおりだよ（怒）」

放課後の事件

これは放課後に起きた事件です

コンコン

クラウド「はい、どうぞ」

クラウドは教室2個分くらいの部屋にすんでいる
ちなみにほかのやつらは教室1、5倍くらい

エイト&リンク「たいへんだあああああ」

クラウド「どつたの？」

エイト「ミーティアの」

リンク「ゼルダの」

エイト&リンク「下着が盗まれたあああああ（泣）」

クラウド「大事件だな、よし全員応接間に集めろ！」

応接間

シエル「なんだこんな所に集めて」

サンジ「晩御飯の下ごしらえをしたのに」

クラウド「それがミーティアとゼシカの下着が盗まれたみたいで・

・」

エイト「心あたりがある人はいる？」

ニャンミ「あ、そういえば最近下着が足りないわ」

藍猫「私も・・・」

織姫「あ、私も」

藍菊「なんかすぐなくなるのよね」

妙「本当によくなくなるのよね」犯人みつけたら殺す」

ウィンリィ「クローゼットから下着がぜんぜんみつからない・・・」

ピーチ「私もないわ」

サ姆斯「みつからない」

ホークアイ「下着が1週間前からひんぱんになくなって」

クラウド「被害者多いな・・・」

ピット「無用心すぎるでしょう!？」

織姫「ちゃんと鍵かけてるよ」

クラウド「じゃあ、どうやってはいったんだよ・・・」

クマ吉「とにかく、ニャンミちゃんの下着を盗むなんてゆるせない
!！」

クマ吉が怒ってる

ウサミ「あなたじゃないの？」

クマ吉「ぼくじゃないよ!!」

リンク「前例があるからな」

エイト「ん？おいそのでかいバッグ見せてみる」

クマ吉「別にみなくていいじゃん」

セバスチャン「これは!」

バッグのなかには大量の下着が入っていた

ワリオ「なんだよこれは!!お前最低だな!」

といってるワリオのリュックの中からも女性の下着が入ってる

クラウド「犯人は二人か」カチャ

クラウドはハンドガンのデザートイーグルを2丁構えた

エイト「ミーティアに恥かせやがって(怒)」

エドワード「痛みで償え」

マリオ「殺してやる」

マスタング「罪を償ってもらおう」

リンク「覚悟はできてんだろっな？」

全員 臨戦態勢だ(クマ吉とワリオ以外)

クマ吉「た、助けて」

ワリオ「もうしませんから(泣)」

ワリオとクマ吉以外「もう手遅れ」(黒い笑み)「

ダンダンダンダン

ザシュザシュ

パチン ドカーン

ガッ

クマ吉&ワリオ「す、すいませんでした」バタッ

このあとクマ吉とワリオは集中治療室にいきました

放課後の事件（後書き）

クラウド「あゝすつきりした」

ゼシカ「あいつら奴隷にしない」

エイト「そうしようか」

SとM「前編」(前書き)

クラウド「今回はちょっと刺激がつよいかも・・・」
エイト「Sの人は面白いと感じるかも」
クラウド「でもまあ前編だから」

SとM「前編」

ホール

PM9:00

クラウド「しかしクマ吉なんでまだかえってこない？」

黒キノピオ「それは俺がとっ捕まえてブタ箱にぶちこんだからだ」

エイト「そうなの！？」

緑キノピオ「うんそうだよ、そして久々の出演だぜ」

クラウド「だせる機会がなかったから・・・すまん」

クラウド「しかし奴隷がいないとつまないなあ」

さっちゃん「奴隷っていい響きが聞こえたけどなに？」

エイト「いいこと思いついた」

クラウド「ああそういうことがよし全員ホールに集めろ！！」

10分後

銀時「また集めてなんだよ」

クラウド「まあまあ」

エイト「とりあえずSと思う人は左、Mと思う人は右に分かれて」

更に五分後

クラウド「え」と読者の皆様これがわかれた表です」

S

セバスチャン

沖田 そうご

坂田 銀時

男鹿 辰巳

源 静香

エイト

ゼシカ

ネウロ

エドワード

マスタング

リボーン

曽良

M

さっちゃん

骨川 スネ夫

野比 のび太

松雄 芭蕉

聖徳 太子

以上（M少な！！）

クラウド「これから暇だからMいじめをする」

さっちゃん「楽しそうじゃない」

沖田「だれにしようかな」

きりが悪いけど続く

SとM「前編」(後書き)

クラウド「自分がSだと思うMだと思う作者のみなさまこの機会に出演してみませんか？」

エイト「あとMの人が足りないのでリクエストなどもよろしく願います」

SとM「中編」(前書き)

クラウド「他の作者の『登場』」

s i b u g a k i「おらおらこのド変体が!!」
のび太「はあはあもつとたたいて」

スネ夫「だれかいじめてええええええ」

クロウド「ほらくれてやる」

リフレクト星人「きもちわるいですねえ」

クロウドは足に銃弾を撃ち回復

リフレクト星人は硬い体を利用して思いつきりけている

スネ夫「いたい・・・でもきもちいいいい、快樂うううううう
う」

残りは次の話

SとM「中編」(後書き)

エイト「なんで3つにわけたの？」

クロウド「他にリクエストくれるかもしれないじゃん」

エイト「なるほど」

SとM「後編」(前書き)

クラウド「更新おくれて申し訳ございませんでした」

SとM「後編」

前回からの続き

あらすじは前の話をよんでね♪

妹子「どうですかkさん？」

k「深いい〜」

エイト「深いい○かよ!!」

k「kのドタバタ中学校よろしくね!!」

シエル「さりげなく番宣してる・・・」

魔王「だれもこないなあ〜」

ピッケル「まあいいじゃんこれで」

ナツチャン「すかさず参上ロマンを求めておら!ほら!」

魔王の角を抜きつつ

ピッケルにバックドロップをかましている

魔王「う〜ん」

ピッケル「ていうかどんだけ器用!？」

ナツチャン「魔王さん深いい○ですか・・・」

ネウロ「弥子はいいい奴隷だ」

弥子「なんか奴隷にされてます・・・」

ネウロは弥子を馬にしている

曾良「おら!!」

ゼシカ「いい感じ♪」

エイト「結構楽しい」

エドワード「おらおらおらおらおらおらおらおらおらおらおらおらおら
おらあ!!」

マスタング「消し炭にしよう」

「リボン、うー！」

芭蕉&太子「俺らのだけきびしいいいいいいいいいいいいいいい！！！」

自由自在「まあまあ私に入るから」

芭蕉「それでもきびしいでしょ!？」

太子「どんな設定!？」

自由自在「これをされるのは私たちにとって幸福じゃないか」

芭蕉&太子「そうだけどってぎゃあああああああああああああ

「あああああ！」

自由自在「うんテクニシャン」

これは1週間続いたそうです

SとM「後編」(後書き)

クラウド「作者の皆様ひどい扱いをしてすみませんでした」

SとM「追加編」(前書き)

クラウド「リクエストキャラを出すのを忘れてしまっていたので出させていただきます・・・あと週間アクセス500突破しました！
！！」

エイト「そして更新がこれからも遅れる可能性が高いです」

SとM「追加編」

追加編、最終日の7日目のこと

・・・まあ、ぶっちゃけ忘れてただけなんだけど（キャラ登場を）

クラウド「はい！ここで作者が登場し忘れましたキャラのご登場です」

ダークピカチュウ「どーも作者のダークピカチュウでS役です」

銀河「キャラの銀河だ！！よろしくあとS役」

竜牙「竜牙だ・・・そしてS役」

クラウド「よし、いじめ再開！！」

ダークピカチュウ「カミナリ！！」

スネ夫「アベ、ビリビリビリビリビリ！！」

エイト「かってにやっていいの！？」

クラウド「だってピカチュウだからこんぐらいしか思いつかなくて・・・」

ダークピカチュウ「アイアンテール+ボルテッカー！！」

のび太「し、刺激が強すぎるうううううううううう！！」

竜牙「いけ！！メテオエルドラゴ！！」

ガシンガシン

芭蕉「尻にベイブレードがねじ込まれるうううううう」

竜牙「究極暗黒転技！！竜皇絶命爪！！りゅうおうぜつめいそう」

芭蕉「もう無理・・・」

銀河「いけ！！ギヤラクシーペガシス！！」

ガガガガガガガガガガガガ

太子「ちょ背骨が折れる！！」

銀河「いくぞ！！ペガシス！！」

太子「まままままままままでこれ以上はもう・・・」

銀河「ギャラクシーノヴァ銀河新星！！」

太子「ぎゃああああああああああああああ！！」
バタッ

このあとさっちゃんを除くMたちは全治4日の怪我を負いました

SとM「追加編」(後書き)

クラウド「ダークピカチュウさん本当に申し訳ございませんでした」

休日の生活「ドラゴンクエスト8編」(前書き)

クラウド「今回はキャラの生活スポットをあててみました」

休日の生活「ドラゴンクエスト8編」

クラウド「どうも読者のみなさま作者です」

チビ「僕は作者のペットですニヤ」

クラウド「ではまずドラクエ？からいきましょう」

エイト

エイト「ハイスコアこせねえなあ」

クラウド「なにしてんの？」

エイト「ウィー○ポーツだよ」

チビ「いつも休日はゲームかニヤ？」

エイト「そうだよ」

クラウド「おまえボウリングのハイスコア19ってひく！」

エイト「わるかったな（怒）」

ヤングス

ヤングス「ふんふん」

クラウド「武器をなんでみがいてるの？」

ヤングス「一応だよ」

チビ「みぐく必要はないとおもっけどニヤ」

ゼシカ

ゼシカ「これとこれとを買おうかしら」

チビ「シヨッピング？」

ゼシカ「そういい服はいっぱい買わなきゃ損損」

クラウド「・・・おまえなんかはまったく買い込むタイプだろ？」

ゼシカ「なぜそれを!？」

クラウド「なんとなくだよ」

チビ「とりあえず次に行こうニヤ」

ククール

ククール「あれは俺がモンスターと戦ったときだなあ」

クラウド「おらああ」

ククール「ゴフッ」

作者はいきなりククールをけった

ククール「なにすんだ」

チビ「なにすんだじゃないニヤ」

クラウド「なに昼間からキャバクラにいるんだよ!!」

ククール「いいじゃねえか」

クラウド「とりあえずこの女たらしにはあいつに報告しておくか」

ククール「それだけはああああああ」

このあとククールはゼシカに100/99ごろしにされました

休日の生活「ドラゴンクエスト8編」(後書き)

クラウド「ネタにつまったらこの話を書きます」

3時のおやつは○明堂（前書き）

クラウド「おかしをたべよう」
ピカチュウ「はやくたべたい」

3時のおやつは○明堂

P M : 3 : 0 0

おやつ時間

子供リンク「おやつ時間だ!!」

レックス「早く作って!!」

クラウド「よしじゃあ待ってろ」

40分後

クラウド「今日はおやつにスポンジケーキをつくってみた」

リンク「僕はチーズケーキ」

セバスチャン「アップルパイを作りました」

サンジ「魚のチップスをつくったぜ」

小松「虹の実のプリンを」

妙「甘い玉子焼きをつくってみたのよ」

ピーチ「私はクッキーを焼いたの」

ビアンキ「チョコレートを作ったわ」

作者たちがつくったのはうまそうなのだが・・・

ピーチたちが作ったのは紫の煙がでている

クラウド「じゃあおやつタイムにしようか」

ピカチュウ「なにたべようかな」

プリン「虹の実おいしいでしゅ」

ルフィ「チップス最高だなあ」

シエル「さすがセバスチャンうまい」

マルス「やっぱチーズケーキはおいしい!!」

男子たちの料理はたべられているのだが

女子たちのはだれも手をつけてない

妙「近藤さん、新ちゃんたべてくれるわね？」

ピーチ「マリオ、ルイージも食べるよね？」

ピアンキ「リボーンたちも食べて」

ということで男子の一部は強制で食べるようになった

近藤＆新八「あの世で会いましょう・・・」バタッ

マリオ「弟よく先逝ってるぞ」バタッ

ルイージ「に、兄さん」バタッ

リボーン「スピースピー」

ツナ「リボーンめうらむぞ」バタッ

獄寺「十代目・・・」バタッ

何人かは地獄の料理であの世行きになったとさ

3時のおやつは○明堂（後書き）

クラウド「もうあれは兵器だな」

ネウロ「我輩でもあれはくいたくないな」

弥子「わたしもちよつと・・・」

遠足のお菓子300円までって結構少ない(前書き)

クラウド「2週間ぶりの更新です」

遠足のお菓子300円までって結構少ない

クラウド「今日は皆で遠足に行こう」

銀時「お、いいね」

大人を含めテンションあがる

クラウド「おやつは300万円までな」

神楽「先く生バナナおやつに入りますか」

新八「いやていうか300万円もあるんだからそんな心配しなくても・・・」

ザックス「というかいつから先生に？」

そりゃそうだ

クラウド「そこはのりで あ、バナナはおやつに入んないよ」

リンク「やった」

弥子「先生足りません3億円にしてください」

クラウド「べつにいいよ」

ガトー「いや！！おかしいでしょ！？」

藤「おまえメタリカメタル力読んでいる人でもわかんないと思うから出るな」

まあこの小説よんでもわからないキャラいっぱいいると思うけどね

土方「先生マヨネーズはおやつに入りますか」

クラウド「俺がマヨネーズ嫌いだからマヨネーズは1本1億円+ね」

土方「じゃあなにならいいんだよ！！」

クラウド「塩とケチャップと焼肉のタレ」

沖田「なんで焼肉のタレなんでえ」

クラウド「あれご飯にかけたらおいしい」

全員「そうなんだよ」あれ結構おいしいだね」

みんな共感

クラウド「あとは何もってきても文句いわないから」

チビ「じゃあ解散だニヤ」

続く

遠足のお菓子300円までって結構少ない(後書き)

クラウド「あれやっぱおいしい焼肉のタレ」

遠足のバスの席順は好きにきめたい（前書き）

クラウド「書くことねえな（前書きで）」
新八「じゃあ書かなきゃいいじゃん!!」

遠足のバスの席順は好きにきめたい

遠足当日

クラウド「よし全員いるな」

チビ「3号車まであるから各自乗るニヤ」

1号車

クラウド「1号車は俺が乗るから」

エイト「そうなんですか」

クラウド「とりあえず1号車は全員いるな？」

神楽「先生 女子が一人遅れてくるそうです」

クラウド「そうかじゃあ男子、女子、男子、男子、女子、男子、女子だ」

神楽「男子、女子、男子、女子、男子、男子、女子ですね」

クラウド「違うわよくきけこうやって・・・」

アレン「いつまでも男女の歌をつづけるなああああああ！！！！！！！！」

2号車

チビ「じゃあ席は自由にきめていいからニヤ」

ピーチ「きゃああああああかわいいいいいいいいいいいい」

弥子「ちよつとさわらせて！！！！」

チビ「いいけどはやく席を決めてニヤ」

3号車

銀八「はーいじゃあさっさと席きめろ」

新八「なにしてるんですか銀さん・・・」

銀八「いやさゝ作者にたのまれたから」

さっちゃん「いいじゃないこの姿も」

スネーク「教師か・・・」

ソニック「一度なってみたいぜ!!」

こうして3台のバスは目的地に走っていった

遠足のバスの席順は好きにきめたい（後書き）

クラウド「バスって借りるのにいくらかかるんだろう」

遠足に遅れてくると恥ずかしい(前書き)

クラウド「ゲスト登場」

遠足に遅れてくると恥ずかしい

遠足の向かった場所

昭和記念公園

エド「おゝすつげえ」

クラウド「ハイここで自由行動・・・の前に」

ツナ「注意事項？」

皆なんだろうざわめいている」

クラウド「はいここで転校生」

新八「いや！！このタイミングおかしいでしょ！？」

クラウド「だまれ駄メガネ　じゃあ転校生カモーン」

フォック「俺はリザードンのフォックよろしくな！！」

ラッシュ「同じくリザードンのラッシュだ！！」

レウト「リオレウスのレウトだよ」

ドルク「ナエトルのドルクだ！！」

クラウド「はいそこへポケモントレーナー捕獲しようとしな」

フォック「あん？ぶつ殺すぞ！！（怒）」

ちなみにフォックさんは怒ると腹黒化する

クラウド「じゃあ自由行動ね」

ラッシュ「やった」

レウト「ねえあそこいこうよ！！」

こうして各自自由行動になった

遠足に遅れてくると恥ずかしい(後書き)

クラウド「ふう疲れた」

移動販売ってなにか買いたくなる（前書き）

クラウド「やばい風邪ひいた」

移動販売ってなにか買いたくなる

昭和記念公〇

とうしろう「なかなかたのしいな」

らんぎく「そうですね隊長」

クロウド「たつのしい」

とうしろう&らんぎく「なんで作者がいるんだよー!」

クロウド「おれだって遊びたいから」

ガラガラガラガラ

ハデス「えゝ怪我をした人、休みたい人はこの出張保健室をご利用ください」

クロウド「なにやってんの!? ハデス先生」

ハデス「え、いやゝ他の人が利用してくれないかなあゝと思って」

とうしろう「だからってなんだこれ」

藤「おう、楽だぜここ」

クロウド「休んでるやついるんかい」

ハデス「まあまあ飲む? 野菜ジュース」

らんぎく「もつといろんなのおいてよ」

ハデス「例えば?」

とうしろう「団子とか」

らんぎく「酒とか」

クロウド「コーヒー牛乳とか」

ハデス「くふうしてみるよ」

藤「あ、野菜ジュースちょうだい」

クラウド「あ、俺も、青いのね」

とうしろつ「じゃあおれにんじん入ってるやつ」
らんぎく「あたしはいいわ」

休憩タイムになった

移動販売ってなにか買いたくなる（後書き）

クラウド「文章力ねえな俺」

はねてるときって楽しい(前書き)

クラウド「またゲスト!!」

はねてるときって楽しい

ここはあれだなんか雲の所

ドルク「ほっほう楽しい♪」

フォック「はねんのもいいな♪」

ラッシュ「もつとゴージャスにしてえな」

とそこに一組のカップルが

友樹「あの〜マスター学校の〜」

彩香「えんそくはここでしょうか〜」

レウト「ん？そうだよ」

友樹「軍司さんからこっちにくるようにいわれて・・・」

彩香「ようするにゲストです」

ゲスト登場！？

このあとどうなるのか

T O B E C

ドルク&フォック「いわせねーよ！！（黒怒）」

ドルクはエナジーバスタを放った

フォックはTアルテマを放った

まった俺ナレーションだからってぎゃあああああああああ
あ！！！！！！！！

ナレーションA死亡

ラッシュ「さてと友樹って錬金術使えるよな？」

友樹「えっ？つかえるけど・・・」

レウト「これごうかにしてくんない？」

友樹「いいよ!!」

そういうと友樹は手を合わせて雲みたいのに触れると強い光をはなつて豪華なものに変わった

レウト「うつひょ〜ごうかじゃん!!」

ラッシュ「もつとはねるぜ」

彩香「友樹もいっしょにはねましよう!!」

友樹「うん!!」

ボーンボーンと2人と2匹ははねている。そこに

ドルク「あ、までよおまえら」

フォック「おれらもやりたいから」

ちなみにこのとき他の一般客はびっくりしてたそうだ

はねてるときって楽しい(後書き)

クラウド「眠い」

昼食の時間じゃあああああああ！！
(前書き)

クラウド「大量リクエスト！！」

昼食の時間じゃあああああああ！！

P M O : 0 0

昼食の時間

クラウド「昼食の時間だぞ」

全員「やったー！！」

サンジ「ほら豪華海鮮料理だぞ」

ルフィ「うまそー！！」

クラウド「食事のデザートにドーナツだ！！」

カービィ「早く食べたい！！」

この料理を見た後いただきますをしようとした瞬間

？「ちょっと、まった！！」

カービィ「だれ！？」

kさんからのリクエスト

キノピオ

キノピコ

ダークピカチュウさんのリクエスト

マリオ

ルイーシ

ピーチ

クッパ

クッパ・jr

カービィ

サトシ

リンク

ゼルダ

ガノンドロフ

フォックス

ファルコ

ウルフ

ヨッシー

鋼 銀河

竜牙

角谷 正宗

花咲 つぼみ

ダークピカチュウ

あゆみん

クラウド「以上です」

ゲストキャラ「なんか紹介ざつじゃない!？」

クラウド「いやダークピカチュウさんリクエストがおおくてさ」

エイト「それでもさすがに雑でしょ!!」

クラウド「つーかもう終わり!!」

全員「ええええええええええ!!？」

クラウド「だってもうこれキャラ紹介状態じゃん だから終わり!!」

昼食の時間じゃあああああああ！！（後書き）

クラウド「いや本当にきつかったですいせん」

時は戦国時代！！戦士たちは・・・以下略（前書き）

クラウド「今回はあれだよあれほらあれだよあれ・・・」
新八「グダグダじゃねえかあああああああ！！！！！！」

時は戦国時代！！戦士たちは・・・以下略

クラウド「はいとりあえずキャラ紹介がすんだところで問題が発生しました」

ドルク「問題？」

クラウド「そのことに関しては料理長サンジ君よろしく！！」

サンジが前に出る

サンジ「え〜とだな〜キャラが増えたから料理が足りないんだよ」

フォック「おい！！俺を飢え死にする気か！！」

客席（いつ作っただよ）からブーイングが殺到する

クラウド「そのことに関しては考えてある。とりあえず氷の下読んで」

ピッケル「適当だなおい！！！！」

ピッケル君 久しぶりの登場

氷氷氷氷

・各自戦闘をしてもらう

・エントリーは自由・・・ただしエントリーしなかったら飯は食わせない

・勝ったら料理にありつけるしかもデザート付き

・負けたらピアンキと妙の料理を食べてもらう

氷氷氷氷

クラウド「わかった？」

ラッシュ「うおおおおお！！血がたぎるぜええええええ！！！！」

スネ夫「でもまけのはつひどくない!？」

クロウド「ちなみ[※]ってジエーって読むらしいよ」

スネ夫「無視ですか!？」

スネ夫はいじけた

クロウド「とりあえずエントリーする人は12時30分までにね」

時は戦国時代！！戦士たちは・・・以下略（後書き）

クラウド「戦いたいかた募集！！ただし一人2キャラまで（キャラ多いと困るので・・・）」

デュエル!! ってあれ? なんかおかしくない? (前書き)

クラウド「参加者の方はまだ間に合いますよ」

デュエル！！ってあれ？なんかおかしくない？

P M O : 3 0

大会開始

クラウド「はい、はじまりましたこの大会そして大会の解説者と言えばこの方！！」

赤キノピオ「どうも解説の赤キノピオです」

クラウド「実況は私クラウドがお送りいたします」

第1試合 友樹VS？

友樹「おれの相手って誰？」

クラウド「ちよつと待って・・・きた！！どうぞ！！」

誰かが入ってきた

そうじ「どうも天道 そうじです」

ちなみに仮面ライダーカブトね

赤キノピオ「これってありませんか！？」

クラウド「いや、おれさ仮面ライダーリュウキとブレイドと響とアギトとカブトは知ってるんだけど名前覚えてるのカブトしかないんだよね」

友樹「とりあえず勝負」

そうじ「その前に報酬は忘れてないだろうなクラウド？」

クラウド「わかつている極上の鯖さばな」

赤キノピオ「さあ試合が始まります スタートの掛け声お願いしますます」

クラウド「よしいくぞ・・・決闘デュエル！！」

新八「掛け声おかしくない！？」

友樹「はっ!!」

友樹は錬金術で岩のガトリングを放った

そうじ「はあっ!!」

それを全て蹴りで落とす

クロウド「もう人間技じゃないな」

赤キノピオ「そうですねー長引きそうですねこの試合」

友樹「オラアッ!!」

そうじ「セイ!!」

ドカドカドカドカ

クロウド「マツハの速さで殴り合っている!!」

赤キノピオ「錬金術じゃ倒せないと判断したんでしょうね」

そしてその拳がお互いのあごにアッパーカット

友樹「さすがにもう無理・・・」

そうじ「鯖が・・・」

れんじ「一人関係ないこといつてるよね!？」

1、 2、 3、 4、 5、 6、 7、 8、 9、 10 ノックダウン!!

クロウド「おーっと両者ノックダウン!!」

赤キノピオ「大変 立派な試合でしたね」

続く

デュエル!! ってあれ? なんかおかしくない? (後書き)

クラウド「この話はクリスマスまでには終わらす!!」

仮面ライダーって変身しないと弱い気がする（前書き）

クラウド「なんかむちゃくちゃ書いたのに間違えて戻る押しちゃって消えちゃいました（怒）」

エイト「読んでる方々申し訳ございません」

銀時「作者の怒りはスルーしてくれ」

仮面ライダーって変身しないと弱い気がする

第2試合 彩香VSピーチ

彩香「いくわよー!!」

ピーチ「お互い、いい勝負にしましょうー!!」

クロウド「じゃあいくぞ、レディー・・・ファイト!!」

新八「またなんか違うじゃねえかあああああああ!!!!!!」

クロウド「女とレディーをかけたんだよ。ダメガネ」

まあこうしてるうちに試合は始まり

彩香「えい!!」

ピーチ「このっ!!」

お互い物を投げ合っている

クロウド「これはどういうことでしょうか？」

赤キノピオ「肉弾戦が苦手なんですよ」

解説してるうちに・・・

ピーチ「これあゝげる」

ボム兵を大量に投げつける

彩香「負けたくない・・・負けたくない!!」

彩香はボム兵を全てキャッチしピーチに投げつけた

ピーチ「ふえっ!？」

ドッカーーン

ピーチにあたり爆発した

クロウド「勝者!!彩香!!」

彩香「やったー!!!」

第3試合 ドルクVSフレイバナ

ドルク「ちょっと待ておかしくないか？」

クラウド「なにが？」

ドルク「なんでフレイバナがいるんだよ！！」

クラウド「YOUTOB〇からつれてきた」

フレイバナ「バナ」

まあ改造だけだね

クラウド「まあとりあえず始め！！」

ドルク「ふん！！」

フレイバナ「フレイ」

クラウド「この戦いすぐ終わりそうですね」

赤キノピオ「そうでしょうか？」

クラウド「みてりゃわかる」

といった瞬間

ドルク「アルテマ！！エナジーバスター！！エナジーバースト！！」

フレイバナ「フレイバナ！！？」

あっさりフレイバナはやられました

クラウド「勝者！！ドルク！！」

そしてクラウドのそばに人が近づく

ばくち打ちA「ちっ、クラウドの勝ちかよ」

ばくち打ちB「ほら約束の金だ」

クラウド「サンキュー」

赤キノピオ「ばくちをしないでください！！」

第4試合 ラッシュVSレウト

ラッシュ「レウトとか・・・」

レウト「ラッシュとか・・・がんばらなきゃ」

クラウド「はじめ！！」

ラッシュ「フレアソウル!!」

小さな火の玉がレウトのそばで爆発を起こす

レウト「うわっ!? 穴を掘る!!」

クロウド「うまくよけましたねえ」

赤キノピオ「そうですね〜冷静な判断力ですね〜」

みんな感心している

ラッシュ「甘いぞレウト、穴の中は気温、気密性が高いここに技を
だしたらどうなるかな?」

レウト「まずい!! 早く脱出・・・」

ラッシュ「遅い!! 火炎放射!! フレアソウル!!」

ボオオオオオオ ドッカーン

レウト「強い・・・」

クロウド「勝者!! ラッシュ!!」

続く

仮面ライダーって変身しないと弱い気がする(後書き)

クラウド「肩痛い」

ただいま暴走中 (前書き)

クラウド「結構長くなるかも・・・」

ただいま暴走中

第4試合フォックVSダークピカチュウ

フォック「ダークピカチュウとか・・・」

ダークピカチュウ「まけねえぞ」

クロウド「夢の対決！！スタート！！」

ダークピカチュウ「ボルテッカー！！」

フォック「なに！？」

不意打ちに近いものだったのでくらってしまった

ダークピカチュウ「シッポに十万ボルト&アイアンテール！！名づけてアイアンボルトテール！！」

フォック「ゴフッ！！」

倒れてしまった

赤キノピオ「くらってしまいましたね〜フォックさん」

クロウド「・・・まずいことしたなダークピカチュウさん」

赤キノピオ「なんでですか？」

クロウド「みてりゃわかる」

いきなりフォックさんが立ち上がった

明らかに黒いオーラをまとってる

フォック「あんたいつたいだれさ？一か？全か？世界か？宇宙か？神か？」

ダークピカチュウ（怖ッ）

クロウド（鋼の錬金術師のセリフだなあ〜）

フォック「そんな思いあがった餓鬼にはお仕置が必要だな〜」バキボキ

ダークピカチュウ「STOP！！待ったやめてお願い！！」

フォック「知らん、光の剣雨^{ひかり けんう}！時の咆哮^{とき ほうりゅう}！ドラゴンクローおお
おおおおおおおお！！（黒怒）」

ダークピカチュウ「死ぬって」

ダダダダダダダダ ドッカーーーーン！！！！！！

クラウド「そ、そこまで！！フォックさんの勝ち！！」

第5試合

試合あゆみんVSパルキア

あゆみん「パルキアっておかしいでしょ！？」

クラウド「文句言わないでくださいね？じゃあ始め！！」

パルキア「亜空^{あくうせつ}切断！！」

あゆみん「いやっー！！光の壁！！」

なんと光の壁が亜空切断を跳ね返した

パルキア「ちよつとまってこのパターンは想定してないからってぎ

やああああああ！！！！！！」

あゆみん「あれ！？勝っちゃった！？」

クラウド「あゆみんの勝ち！！」

ただいま暴走中（後書き）

クラウド「え」とダークピカチュウさんすみませんでした。キャラが多いので仕方がなかったんです。あと主要人物のボルテッカーがボルッテカーになってましたよ」

戦闘シーンの描写って難しい・・・え、そうでもない！？（前書き）

クラウド「がんばらなきゃ終わらない」

戦闘シーンの描写って難しい・・・え、そうでもない!?

第6試合 渋井アバコーラVSところ天の助

銀時「アバコーラってだれだあああああ!?!?!?!」

クラウド「kさんのリニューアルする前のキャラクターでフライン
グ登場の予定だった」

銀時「ふつうにいうな!?!」

赤キノピオ「これはこれで楽しみな一戦です」

会場が意外にわきだっている

クラウド「始め!?!」

アバコーラ「アクアジェット!?!」

天の助「プルプル真拳奥義!?!回復!?!」

天の助は水を吸収して回復した

天の助「死ね!?!プルプル真拳最終奥義!?!」

クラウド「あいつに最終奥義あつたかな」

アバコーラ「絶対に勝ってやる!?!」

天の助「ご賞味ください!?!」

赤キノピオ「馬鹿でしようか!?!あのところでん!?!」

アバコーラは天の助に近づく

アバコーラ「いけるかも・・・ってくれるかあああああ!?!?!?!」

(怒)「

アバコーラはストーンヘッジを繰り出した

天の助「バサラ!?!?!?!」

クラウド「アバコーラの勝ち!?!」

第7試合 クレス&デインVSクラウド&チビ

銀時「こんどは誰のリクエストだあああああ!?!?!」

クラウド「ミゲールさん」

クレス「よかった〜1週間なにも口にしてなかったんだ〜」

エイト「さすがに可愛いそうだな〜」

太子「ふむ大変だな、ツナ食うか、妹子が口にした」

妹子「口にしてませんよ太子!!」

クラウド「まあ行くぞ、はじめ!!」

クレス「次元ざ・・・」

クラウド「変身!!」

そういうとなぜか作者は仮面ライダーカブトに

エイト「どんだけ仮面ライダーひっぱてんだよ!!」

ククール「あんま好きじゃなかったろ!!」

クラウド「最近Wi〇の間でみたら面白かったから」

全員「そんな理由!？」

その間敵チームは

デイン「まずい!!にげる!!」

クレス「なんで?攻撃すれば・・・」

デイン「お前カブトしらねーのか!!」

チビ「逃がさないニヤ!!影ふみ!!」

動けなくなった

デイン&クレス「ソーナンスかお前は!!」

クラウド「よくやった!!いくぜ!!」

ハイパーキャストオフ!!

デイン「クツ!!地衛乱舞!!」
ちえいらんぶ

クラウド「おそい!!ハイパークロックアップ!」

ハイパークロックアップ!!

説明しよう!!この間はマッハ以上のそくどで動けるのだ!!

ドカドカドカドカドカドカ

ハイパークロックオーバー

デイン&クレス「・・・」↑屍

赤キノピオ「すさまじい速さで動きました！！そしてクラウドチー
ムの勝ちです！！」

第8試合 花咲つぼみVSロズレイド

クラウド「あんまどっちもしらないからはじめ！！」

ロズレイド「リーフブレード！！」

つぼみ「ブロッサムインパクト！！」

ガキーーーーン

お互いに押し合っている

クラウド「すごい戦いだね」

赤キノピオ「そうですねーそれにしてもポケモンが強いですねー」

クラウド「そりゃそうだ俺が育てて全員LV100なんだから」

いまチラツと恐ろしいことをいった外道作者

クラウド「ナレーション」

はい？

クラウド「死にたいか？」

すみませんでした！！！！

赤キノピオ「おっと！！この間にロズレイドがおされているぞ！！」

ロズレイド「クッ！」

つぼみ「おわりね！！ブロッサムシュート！！」

ロズレイド「ギャピ！！」

クラウド「つぼみの勝ち！！！！」

戦闘シーンの描写って難しい・・・え、そうでもない！？（後書き）

クラウド「なんつゝか間に合うかな」

最終的に雑になってしまった・・・（前書き）

クラウド「雑になってしまいました・・・」（謝罪）

最終的に雑になってしまった・・・

第9試合 ミゲール&アトリVSキーファ&マリベル

クラウド「補足で右のチームはドラクエ？のキャラで左がミゲールさんのチームです。（アトリは赤ちゃん）」

銀時「赤ん坊が戦えるのか？」

クラウド「まあ見てろ、始め！！」

キーファ「斬撃！！」

剣を振り下ろして衝撃波を飛ばした

ミゲール「熱波疾風刃！！」
ねっばしつぷうは

それをミゲールが相殺した

アトリ「ブラスト！！」

そこをアトリが追撃した

キーファ「なんだ、ただの膝蹴りじゃ、ゴフ！！」

油断してまともに食らってしまった

赤キノピオ「見事な連係プレーだ！！」

キーファ「くそ！！マリベル！！」

マリベル「メラガイアー！！」

マリベルの放ったメラガイアーはキーファの剣にまわりついた

キーファ「くらえ！！」

ミゲール「アトリ！おふくろだ！！」

赤キノピオ「おふくろってなんでしょかね？」

クラウド「まずい！！みんな耳をふさげ！！」

言われたとおりみんな耳をふさいだ

アトリ「ピーガーガー！！！！」

説明しよう！！おふくろとは死の歌である！！分かりやすくいうと

ジャイアンの歌の10兆倍の威力だと考えてくれ!!
キーファ&マリベル「頭が割れるううううう!!!!!!!!」バタツ
クラウド「ミゲールチームの勝ち!!」

第10試合 ダークピカチュウリクエストチームVSスマッシュブ
ラザーズ

リクエストチーム「俺ら扱い雑すぎるだろう!!!!」

クラウド「しかたないだろうが!!多すぎるし、キャラかぶりすぎ
てるんだよ!!」

チビ「文句言うならリクエストチームは失格でいいニヤ」

リクエストチーム「わかったよ・・・」

クラウド「よし、はじめ!!」

サトシ「いけクロンピカチュウ!十万ボルト!」

クロンピカチュウ「ピカチュウ!!!!」

マリオ「サムス!!」

サムス「ゼロレーザー!!!!」

このゼロレーザーでクロンクッパJr以外やられた

クロンクッパJr「でてこい!!ラクガキども!!」

クロンクッパJrが絵を描くと敵がたくさん出てきた

ルイーザ「ネガティブゾーン!!」

敵の動きが遅くなった

ソニック「スーパーソニック!!」

その間にソニックが光速で動き敵を全て倒した

マリオ「最後だ!!マリオファイナル!!」

クロンクッパJr「無念・・・」

クラウド「スマッシュブラザーズの勝ち!!」

最終的に雑になってしまった・・・（後書き）

クラウド「次はバイキング編・・・」

バイキングウゝ（エド・はるみ風）（前書き）

クラウド「今日2話更新しようかな」

バイキングウ〜（エド・はるみ風）

クラウド「敗者はこっち、勝者はこっちです」

友樹「引き分けてどうなるの？」

クラウド「好きな方にいっていいですよ」

総司「おれも料理作るか」

勝者 side

友樹「あの野菜おいしそ〜」

ある野菜を取ろうとしている友樹

クラウド「あれはオゾン草 本来は2箇所同時にたべなければいけないけど品種改良（作者パワー）で普通に食べても大丈夫にしました」

オゾン草を友樹は皿にのせた

友樹「おいしそうだからね」

彩香「あのデザート類おいしそー！！」

結構種類のあるデザートを見ている

クラウド「ああ、それは俺とマリオで作ったんだ」

彩香「マリオがしてくれるの！？」

クラウド「○田ユキ○先生の書いてるスーパーマリオを読めばわかる」

彩香「へえ〜とっておこう」

そいつってデザートを皿にのせた

ドルク「あの肉を全部食べてえ〜！！」

クラウド「ああ、宝石ジュエルの肉ね、他にも松坂牛とかあるから食べて」

ドルク「よっしゃ〜！！」

ドルクは全種類の肉を皿にのせた

ラッシュ「そうだな、俺はオゾン草と肉類をもらおうかな」

クロウド「あ、お寿司もあるよ」

ラッシュ「本気^{マジ}?とつとこ」

ラッシュは和食コーナーに向かっていった

フォック「やっぱ肉だな!!」

クロウド「いっぱい食べてくださいね」

フォックさんはいろんなものを皿にのせている

あゆみん「デザート」

クロウド（あんたの弟らしいことになっているのにのんきだなあ）

あゆみん「ん?なんかいった?」

クロウド「いえ、なんにも」

アバコーラ「何食べようかな」

クロウド「ポケモンフーズとかポフィンありますよ?」

アバコーラ「じゃあ、そのコーナーいこうかな」

つぼみ「なにたべようかな」

クロウド「あせらずえらんでね」

ミゲール「肉食うか?アトリは何食べる?」

アトリ「ババババババ」(ええと人肉?)

クロウド「恐ろしいもん求めんな!!」

勝者チームのバイキングリスト

肉類

ロズレイド「植物になって回避しなきゃ！！」

キーファ「だれか俺にザキをかけてくれえええ！！！！」

マリベル「もうやだ！！」

ダークピカチュウリクエストチーム「目が目が目が目がああああ！！！！！！」

クラウド「あきらめろあと一チーム、ムスカだろ」

敗者チームのバイキングリスト

肉類

腐った肉

犬の生肉

野菜類

腐った野菜のサラダ

デザート

ポイズンケーキ

シェフ

ピアンキ

妙

ちなみに勝者チームは喜び

敗者チームは屍になりました

バイキンググウ（エド・はるみ風）（後書き）

クラウド「うん、まずかったかな」（いろんな意味で）」

人を引くのに免許なんていらない（前書き）

クラウド「初の一日の2話更新!!」

人を引くのに免許なんていらない

P M : 5 : 3 0

帰還

クラウド「よししかえるぞ」

チビ「全員バスに乗るニヤ」

全員「ハッイ」

全員バスに乗った

クラウド「出発」

ブーン

アレン「つまらないです」

クラウド「じゃあ映画みていいよ」

全員「やったー!!」

カービィ「何見る？」

神楽「銀魂の紅桜編」

全員「いいんじゃない!!」

そういつた瞬間

バキーン

通行人「ぎゃあああああ!!!!!!!!」

通行人は倒れていた

アレン「なにしたんだよ!!」

クラウド「引いた」

アレン「普通に言っな!!」

クラウド「人を引くのに免許なんていらないよ？俺は免許もってるけど」

アレン「そういういみじゃなくて・・・」

クラウド「それよりたいへんだぞ」

神楽「どうしたアルか？」

クラウド「バスが止まらん」

全員「なんだってー！！！」

なんとバスが停止できなくなった

クラウド「ニトロエンジン使ったのがまずかったな」

全員「おまえが原因かよ！！」ビシッ↑ツッコミ音

全員「だれかたすけて」

そこに2人の少年がバスの前に立った

？「いけえこのバスをとめるんだ！！！」

そういうと1個の玉をこちらにはじくとスピードは減速した
？2「ブラック・マジシャンこれで完璧に止めるんだ！！」

そういうとブラック・マジシャンがバスを止めた

クラウド「助かった」ありがとう名前は？」

竜輝「おれは霧笛^{むてき} 竜輝^{りゅうき}！！」

ダン「空操^{くうそう} 弾馬^{だんま}だ！！ダンってよんでくれ！！」

クラウド「もしかして二人とも転校生？」

竜輝&ダン「そうです。よろしくお願いします」

クラウド「こちらこそ」

こうして二人の生徒が増えた

人を引くのに免許なんていらな（後書き）

クラウド「ウイングさんからのリクエストです」

皆が楽しいクリスマス♪（前書き）

クラウド「クリスマス編です（笑）」

皆が楽しいクリスマス♪

PM7:00

クリスマスパーティー会場

クラウド「野郎共クリスマスパーティーだぜ!!」

全員「イエー!!!!!!」

クラウド「料理はもちろんプレゼント交換もあるぞ」

全員「最高!!!!!!」

クラウド「じゃあ食べて遊ぶぞ!!」

全員「オー!!」

クリスマスパーティーにあるもの

クリスマスツリー(100m)

バイキング

アミューズメント

ゲームコーナー

イルミネーション

神楽「チキンがあるアル!!」

銀時「こんなの余り食えないから喰うつとけ!!」

新八「頂きまゝす!うっ!」

銀時「どうした新八」

新八「腹が・・・」

ビアンキ「それ私が作ったやつ」

新八「殺す気か!!」

クラウド「大丈夫か?だれかマユリ呼んで来い」

そういつてクラウドは怪しい動きをしている

新八「なにをするんですか？」

そのちょうどマユリがやってきた

マユリ&クロウド「そりや改造^{なお}すんだよ」

新八「字がちがーう！ー！ー！」

クロウド「いいからやるぞ」

マユリ「楽しみだ・・・」

新八「助けてくれー！ー！ー！ー！ー！」

こうして新八だけ不幸なクリスマス（作者のせいで）を送ることに
なったとき

めでたしめでたし

新八「めでたくねー！ー！ー！ー！ー！ー！」

皆が楽しいクリスマス♪ (後書き)

クラウド「このシリーズは正月まで続く」

プレゼント交換ってわくわくする♪(前書き)

クラウド「メリークリスマス!!」

プレゼント交換ってわくわくする♪

P M 9 : 0 0

クリスマスパーティー会場

プレゼント交換

クラウド「本日のメインイベント！」

チビ「プレゼント交換を実施するニヤ」

チョッパ「楽しみだな〜！」

ブルック「ニヨホホホホ！！ちよつとどころか、かな〜り楽し〜み〜♪」

クラウド「プレゼントはステージにおいてあります」

チビ「すきにとるニヤ」

10分後

クラウド「じゃあ皆オープン！！」

チョッパ「やった！！おれ医学の本だぞ！」

ブルック「私はティーセットですよ〜！！」

エイト「お、新しいバンダナだ♪」

ドルク「技マシンじゃねえか！」

ラッシュ「トレーニング用のおもりか！」

フォック「新しいゴーグルだ！！」

レウト「加速装置って（汗）」

アバコ「おれも技マシンか〜」

チビ「猫じゃらしニヤ！！」

ダン「あたらしい爆丸か〜」

竜輝「カードだ！」

一護「死神の力の復活方法？なんだこれ」

クラウド「おれは・・・やった！モンスターハンター3rdじゃん
！！」

まあこのように各自いろんなプレゼントをもらった

クラウド「もらったプレゼントは大事にしるよ！！」

全員「分かってるって！！」

クラウド「じゃあ引き続き食って遊んでくれ！」

こうして楽しいクリスマスパーティーは夜にふけていったのである

達成感はめんどろろとセットでついてくる b y 3月のライオン（前書き）

クラウド「更新です」

達成感はめんどくささとセットでついてくる by 3月のライオン

P M 6 : 0 0

キッチン

クロウド「おせちの用意するぞ!!」

サンジ「食材はたっぷりあるぜ!!」

小松「がんばりましょう!!」

30分後

クロウド「とりあえず下ごしらえができたな」

サンジ「ん?おいカマボコがひとつ(長いの)がたりねえぞ?」

クロウド「何?おれの大好きなカマボコがない?そいつは地獄をみせたおうがよさそうだ・・」

小松「あのゝなんか食べてる弥子さんと銀時さんがいるんですけど・

・・」

弥子「私何にもしりませんよ(バレタ!?)」

銀時「そうそうカマボコなんて食べてないし!!」

クロウド「お前らかゝ」ニツコリ

弥子&銀時「目が笑ってねええええ!!!!!!!!」

クロウド「ちよつとあつちにいつてお・死・お・きしようかゝ」

弥子「だれかああああ!!!!!!」

銀時「助けてくれええええええええ!!!!!!!!」

ズルズルズルズルズルズルズル

3人は違う部屋に逝った

小松「どうなるんでしょうか」

サンジ「さあなゝ」

ゴスボコドツカーーーーーンバキボキ!!!!!!

30分後

弥子&銀時「ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセン
ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイ
モウシマセンゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセン
ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセン」ブルブルブ
ルブルブルブル

サンジ「一体なにした？」

クロウド「くらってみる？」

サンジ「すいませんでしたーーーー!!!!!!」↑土下座

達成感はめんどくささとセットでついてくる by 3月のライオン（後書き）

クラウド「やっちゃった・・・でも後悔はしてない（キッパリ）」
弥子&銀時「ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセン
ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイ
モウシマセンゴメンナサイモウシマセン」ブルブルブルブル

おおみそかは年越しそばが欠かせない（前書き）

クラウド「感想の返信がなくてすいませんでした!!」

おおみそかは年越しそばが欠かせない

PM:9:00

大食堂

クロウド「へーい、みんなのってるかい!!」

全員「オー!!」

クロウド「じゃあパーティを始めゝる前に!!」

新八「なんですか?」

クロウド「ゲストキャラの紹介だ」

ニュー「ニューだ、よろしく!!」

バクフーン「バクフーンだ、よろしく!!」

クロウド「ゲスト紹介もおわったのでパーティを始める」

ドルク「やつほーい!!この飯はうまいんだよな!!」

ラッシュ「どうかんだ!!」

レウト「ていうか食べる描写が多い気がするんだけど・・・」

フォック「気にしたら負けだぞ!!」

ニュー「えゝと何しようかな?」

バクフーン「迷うな」

キルア「あのさ作者」

クロウド「なんだね」

キルア「あそこで震えてるのはなに?」

弥子&銀時「ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセン
ゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイモウシマセンゴメンナサイ
モウシマセン」ブルブルブルブル

クロウド「オレの好物を奪った罰だ、ほっときな」

キルア「は〜い」

のび太「紅白歌合○が始まってるよ!~!」

すね夫「本当!?!みなきゃ!~!」

クロウド「おれはガキの使いやあらへん○の笑っ○はいけないシリ
ーズ派なんだけど・・・」

まあこうやって夜がふけてったわけなのさ（マルク風）

P M 1 1 : 3 0

年越しそば

クロウド「みんな年越しそばの準備はいいな?」

全員「オー!~!」

クロウド「じゃあいただきまーす!~!」

全員「いただきまーす!~!」

こんな感じでいざごさはあつたけどそばで幸せになったとさ

おおみそかは年越しそばが欠かせない（後書き）

クラウド「来年もよろしくおねがいします!!」

ちよつと遅めのお正月（前書き）

クラウド「遅れてすみませんです」

ちょっと遅めのお正月

クラウド「みんなお正月だー！ー！ー！」

マリオ「大人組からお年玉もあるからな」

子供（作者含む）「いえー！ー！ー！ー！ー！」

マリオ「なんで作者が！？」

クラウド「バカやろう！ー！おれはまだ12歳だ！ー！」

マリオ「そうだったねーじゃあオレからは1000円ずつね」

ルイーダ「僕は2000円ずつね」

カービィ「ありがとう！ー！」

太子「わたしからは石をやろう！うれしいだろ！わっはっは！ー！」

クラウド「死ねこら！ー！（怒）」

ピチュ「ふざけんなー！ー！ー！（怒）」

アレン「こっちなんて借金まみれで大変なのに石なんだこらー！ー！」

「！ー！ー！（怒）」

太子「ポピー！ー！ー！ー！」バタッ

今日のポピー：アイスランドポピー

花言葉：死ぬ寸前

ちなみに今の太子の状態は・・・ハチクロの森田さんのやられた姿の醜いverと考えてほしい

クラウド「次は？」

銀時「おれからは貧乏だから少ないけど2000円ずつだ」

神楽「やったアル！ー！」

新八「こころづかいがうれしいですよ・・・」

ということでもみなからいっぱいお年玉（総計100万越え）をも

らってよろこんだとき

ちよつと遅めのお正月（後書き）

クラウド「本当にこのぐらいの額もらってみたいな」

ウイルスの管理はきちんとやれ（前書き）

クラウド「上のタイトルで分かった方はすごい！」

ウィルスの管理はきちんとやれ

AM10:00

体育館

ここに全校生徒＋教師が集められていた

獄寺「なんなんだ！いきなりあつめて！！」

学崎「勉強させるよ！この野郎！！」

マスターハンド「おちつけ！今から作者から話があるから」

クラウド「ただいま校庭にはゾンビとマジニが徘徊してます」

全生徒「なんで学校にゾンビとマジニがいるんだよ！」

全生徒の心が一致した瞬間だった

クラウド「それが科学部のウェスカー君がTウィルスとブラーガウ
イルスを間違えてばらまいちゃったんだよね」

ウェスカー「本当にごめんなさい」

ちなみにウェスカー土下座

全生徒「ふざけんなよ！このやるーーーーー！！」

ババババババババババ

全生徒がウェスカーに向かって銃を撃ちまくった

ウェスカー「もろこし！？」↑なんの言葉！？

結構撃たれたのにウェスカー君は無傷だった

ウェスカー君の体にはウロボロスが注入してあります

クラウド「ということで殺してきて」

全員「いやまだ死にたくねーからやだよー！！」

エイト「だから章設定の所が学園黙示録のちよつとぱくった版なの
ね・・・」

クラウド「その漫画のキャラはつれてきたから、あとこれ見て」
そういつて作者は大きな神・・・じゃなくて紙をとりだした

紙の内容

・生徒は一匹倒すごとに授業を一回ふけてもよい
・教師は一匹倒すごとに給料5%UP
全生徒「やります！つーかあのキャラつれてきたのかよ！知ってる人すくないでしょ！？」

また全生徒の心が一致した瞬間だった
クラウド「よし俺も参加するぞ！そしてゾンビ狩りのはじまりじやーーーー！！！！！」

ウイルスの管理はきちんとやれ（後書き）

クラウド「本当に学園物？と思う方はいるでしょうけどちゃんとデスト編とかやりますからね？」

地雷は踏んだら危ない・・・かも（前書き）

クラウド「ども今回は前書きでわがマスター学園の教師を紹介します

ちなみに理由は下で（ ）の中は作品名です」

国語

ぬ〜べ〜（地獄先生ぬ〜べ〜）

国語得意そうだから

算数・数学

クラウド

活動報告をみてください

歴史

大原部長（こちら葛飾区亀有交番前派出所）
城とかについて熱く語っていたから

科学

リオ（ムヒヨとロージの魔法律相談事務所）
薬を作ってたから

英語

スネーク（メタルギアソリッドシリーズ）
たしか67国の言葉を話せたから

家庭科

ロージ（ムヒヨとロージの魔法律相談事務所）

家事がすごい手際よかったから

美術

フランキー（ワンピース）

大工だから

音楽

ブルック（ワンピース）

楽器万能だから

こんぐらいですかね

足りない場合は教えてください
ではどーぞ

地雷は踏んだら危ない・・・かも

クラウド「注意事項でハンターとかいっぱいいるから　あと地雷しかけてるから巻き添えくらわないようにね」

古市「ちよつと待てなんでハンターとかいるんだ」

クラウド「いやさ」研究所のハンターとリッカーとタイラントとネメシスのサンプル100万体制つつが感染しちゃってうるうるしてるんだよね（笑）」

古市「笑えるか！！」つか助けるや！！俺戦えねーぞ！！」

非戦闘人「そーだ！そーだ！」

あたりまえのように文句を言う人たち

クラウド「ちゃんとその対策は考えてある、ジャジャーン四次元ポケットと銃と無限バンダナ！！」

非戦闘人「おおー！！これで戦える！！」

クラウド「じゃあがんばっていつてらっしゃい、俺も行くから」

~~~~~校庭~~~~~

古市「うわ！本当にうじゃうじゃいる！！」

ちなみに状態はあれだ満員列車の99.9%くらい

ぬぐぐ「うおー！！やるぞー！！金ないんだこちらー！！」

全員「俺らも行くぞー！！！！」

クラウド「とりあえず非戦闘員はロケットランチャーをうってスペースをあけた後ショットガンかマシンガンを使い！！」

非戦闘員「よし！くらえ！！！！！！」

非戦闘員はロケットランチャー（RPG-7）をはなち地雷のコンボで近接戦闘ができるくらいにはなった

クラウド「よし！必ず3人1組でくめ！！狙撃組は2人1組で一人

は護衛役で屋上から狙撃しろ！！」  
こうして俺らはゾンビと戦闘になりました

地雷は踏んだら危ない・・・かも（後書き）

クラウド「無限バンダナってどういう構造になってるんだろっ？」

囃はやりたくない・・・あたりまえか（前書き）

クラウド「今回の前書きは狙撃組の紹介です」

クラウド チビ 古市 新八 ネウロ ウソップ 姫川 リボーン  
スネーク

コロネロ  
以上10名

囷はやりたくない・・・あたりまえか

狙撃組　　校舎内

クラウド「よし！このまま屋上行くぞー！」

現在、道行くゾンビ（たまにタイラント）をぶっ飛ばしつつむかっています

古市「いやちよつと待った！」

新八「この先の廊下にタイラントが20匹くらいたまってます！」  
チビ「どうするニヤ！」

クラウド「だれかが囷になるか・・・よし新八やれ！」

新八「ぼく！？嫌ですよ！他の人やってくださいー！」

新八は完全拒否しました

クラウド「しかたないな」じゃあ俺がやる！」

クラウドが手を上げる

古市「クラウドがやるならおれがやる！」

チビ「ご主人がやるなら僕もやるニヤ！」

ネウロ「なら我輩がー！」

と次々に手をあげてゆく

ウソップ「この狙撃の王様がー！」

姫川「なら俺がやってやろう！」

リボン「いや俺が！」

スネーク「いやいや俺が！」

コロネロ「だめだ！俺がやる！」

と新八以外みんな手をあげた

新八「え？え？じゃ、じゃあ僕がやりますー！」

新八以外「どうぞ、どうぞ、どうぞ、どうぞ！」

お約束のダチヨウ倶○部のネタですな

新八「ちくしょー！ー！ー！！！！はめられたあああああ  
！！！！！！（泣）」

クラウド「じゃあいつてこい！」

古市「そうだ！こういうネタどうだ！腹食べられて腸が出てきたと見せかけて実はソーセイジでしたって」

姫川「いいなそれ！ほれ！ソーセージ！」

新八「そのネタはやりませんからね！じゃあ逝ってきます！！」

新八位外「逝ってらっしや〜い」

字はまちがってないぞ！けっして！

[illegible]

タイラント「ウオオオオオオオ！！！！！」

……  
……………  
……といってタイラントは新八の腹を食べようとする。

新八「これ実は腸じゃなくてソーセイジなんだ！！つてぎやあああああ！！！！！！！！！！」

ドカーニン

そしてなぜか爆発した

クラウド「何で爆発？」

姫川「ソーセージに爆弾仕掛けといたんだ」

クラウド「ナイス」

これで狙撃班は屋上に向かった

囿はやりたくない・・・あたりまえか（後書き）

クラウド「ダチヨウ倶○部のネタやってみました!」

戦闘において奇襲は大変有効である by マスティング大佐（前書き）

クラウド「PV2万突破！ありがとうございます！」

戦闘において奇襲は大変有効である by マスタング大佐

殲滅組へ校庭へ

ルフィ「ゴムゴムの銃<sup>ピストル</sup>!!」

マスタング「ふん! くそ奇襲も全く役に立たん!!」 ↑ 指パッチン  
火炎

戦況はですねへ大変まずい状態です  
フォック「飛翔<sup>ひしょうかえんほつしゃ</sup>火炎放射!!」

エド「オラオラ!!!」 ↑ 槍で応戦中

それでもみんな対応してくれてるんだけど数が減らないという最悪な事体です

ラッシュ「ドラゴンクロー!! くそっ! 狙撃組はまだ屋上に到達しないのか!!」

ドルク「エナジーバスター!! 持ちこたえればいずれ戦況は楽になるだろう!!」

レウト「はじける炎! それまで持ちこたえんのきつくね!？」

シルム「やゝ! あきらめちゃだめだよ!!」

ちなみにドルクとシルムは最終進化系になってます

詳しくは「ポケモン不思議のダンジョン ブレイブトレジャーズ」をご覧ください

竜輝「ブラックマジシャン! ブラックマジック!! きついねへでも!!」

ダン「オラオラ!! 授業ふけるためなら何だってするぜえええ!!  
!!!」

そこに

? 「熱波疾風波!!」

ルフィ「ん？だれだ？」

ミゲール「応援にきたよ！」

デイン「オラオラオラオラア！！」

アトリ「ブラスト！！」

フォック「楽になったぞ！！」

クラウド「こちらクラウド！屋上に到達しました！いまから狙撃を開始する！！」

フォック「お！みんな狙撃組が到達したぞ！」

ドルク「ここらが正念場だ！がんばるぞ！！」

全員「おう！！」

戦況はいつペンした・・・

戦闘において奇襲は大変有効である by マスダング大佐（後書き）

クラウド「はいゲスト登場」

お前らうちのもんになにしてんだ・・・（前書き）

クラウド「はっはっは大暴走（笑）」

なんやかんやでゾンビ（タイラント等含む）殲滅できました！

クラウド「なんとかなつたね」

竜輝「授業サボる件は！？」

クラウド「まあ給料UPちよつとまつて、だれかパソコン持ってきて」

のびた「はい」

クラウド「ちょっとまってね」……はい資金1兆円増やした」

全員「ええ!？」

のびた「なんでそんな早く増えんの!？」

クロウド「おれ会社経営してんだよね、しかも大企業、あらゆると  
ころのトップだよ」

あらゆるところでは、不動産とか宝石と服とかいろんなものです。

スネオ「それにしてもはやすぎ！10秒しかたつてないよ！？」

クラウド「あの10秒の間にマクドナードとケンタッキ―と西〇鉄道の株かってピークでうったらむっちゃ増えた」

スネオ「もういいや……」

クラウド「すげえだろうっはっはっは!!」

クロウドが笑ってるすきに黒い影が……

チビ「危ない！ご主人！」

「タイラント、ウオオオオオオオオオ！……！！！」 ザクッ

今の現状を分かりやすくいうと

なぜかタイラント校舎から10万くらい登場



グツチヨグツチヨグツチヨ

1分後

クラウド「あっ！！チビ大丈夫!？」

チビ「フォックさんに治してもらったニヤ!」

クラウド「ありがとうございます」

フォック「いやいや」

こうして敵は完全に殲滅されました

この全員こう思ったそうです

全員（クラウドおこらせるのとチビからかつのやめよ・・・殺される）

お前らうちのもんになにしてんだ・・・（後書き）

クラウド「大暴走でしたね（笑）」

テスト勉強はちゃんとしよう(前書き)

クラウド「テストは・・・テストは面倒くさい!!」  
↑ 本当





テスト勉強はちゃんとしよう(後書き)

クラウド「テスト編です」

テスト勉強？面倒くせえ！！（前書き）

クラウド「ネーターがなーいー！！」

テスト勉強？面倒くせえ！！

PM4:00

下校「（というか寮に戻るだけ）」

ルフィ「あゝどうしようかな」

竜輝「がんばれよ」↑IQ200

エイト「勉強しなきゃまずい！！」

ラッシュ「ちよつと勉強しなきゃまずいかな」

アトリ「あゝきつと簡単すぎてちよろいんだろうな」

全員「赤んぼがしゃべった！？」

アトリ「あれ！？しゃべってる！？」

アトリには作者が強制的に翻訳しております

全員「あゝなるほどね」

アトリ「言葉が通じるのは楽だな」

こんな漢字じゃなかった・・・こんな感じでテストトークをしながら下校中

ゾロ「本当にどうしようか」

ゴン「うゝん・・・」チリチリー・・・ボン！！！！↑ショート音  
？「いらつしゃい、いらつしゃい」

ドルク「ん？なんだ？」

？の正体は・・・

クラウド「その生徒よつといで！！頭が良くなる薬だよ！！」

全員「なんで教師が売ってんだよ！？」ビシッ！

クラウド「え？金になるから！」

全員「最低か！」

クラウド「知らん！かわない？一本で1日だけ天才に！価格は・・・  
・1億円！」

全員「高けえよ！ぼったくりすぎだろ！？」

クロウド「買わないならさっさと勉強しろ！」

ルフィ「しかたねえ、べんきょうするか？」

ダン「はゝやだな」

レウト「面倒くさい」

テスト勉強？面倒くせえ！！（後書き）

クラウド「テスト勉強？したことない！！」

勉強会は途中から遊び会になる（前書き）

クラウド「うん・・・テスト内容どうしようかな」

勉強会は途中から遊び会になる

P  
M  
5  
:  
0  
0

勉強会

ルフィ「うんこれからどうする？」

弥子「それなら心配ない！！先生呼んできたから！！」

ツナ「ナイス！ 弥子！」

ネウロ「勉強を教えるネウロだよろしく」

全員「最悪のドSが来たあああああああ！！！！！！！！」

ネウロ「何を言う！ちゃんと勉強は教える！報酬は弥子を虐めゴホン！弥子を手伝いにかりだすことだ」

弥子「わたしの身が危ねえええええええ！！！！！」

ネウロ「まあいい！じゃあまずこの問題からいこう！たぶん教師陣は難しい問題を出してくるだろう」

フォック「よし！やるぜ！」

30分後

クレス「うん全然わからない！」

レウト「え！？何この問題！！」

ミゲール「おれの頭じゃ限界だああああ！」

「デイン、テストなんてなくなってしまええええええ！！！」

ダン「はーどじょちん」

アトリ「大変だなお前ら」

竜輝「自業自得じゃない？」

天才チームは勉強ではなくゲームしている  
ラッシュ「息抜きにやるか！」

フォック「あ！じゃあ俺もやる！！」  
ルフィ「おれもやるぜー！！！！」

こんな感じで勉強会も1週間すべて遊びになったとさ

勉強会は途中から遊び会になる（後書き）

クロウド「おれも大体こんな感じだな」宿題おわらせて遊ぶ！」  
全員「それ違う！！」

テストの問題を前もって知ってる奴は卑怯（前書き）

クラウド「は、中学校って勉強が難しいのかな」

## テストの問題を前もって知ってる奴は卑怯

AM2:00

テスト当日～早朝～

現在クラウドの部屋の前に3人の生徒が立っている

安田「さ～てどうする？」

のびた「とりあえずピッキングよろしく」

スイッチ「無理だ、18重ロックに指紋認証システム、網膜パターン認証システムがついている。」

のびた&安田「ただだけ嚴重!？」

スイッチ「これは俺でも無理だ、窓から入ろう」

のびた「賛成!」

安田「これで赤点は免れる・・・AKYのポスター捨てられずにすむぞ!!」

～窓～

スイッチ「ここも強化ガラスがつかれている」

安田「のびた例のものを!」

のびた「通り抜けフープ!これで入ろう!」

ていうかぶつちやけそれで玄関からはいればいいじゃん

安田「あつたか!？」

のびた「ない!!」

スイッチ「みつけたぞ」

安田「よし!じゃあそれをパソコンにコピーし・・・」

スイッチ「どうした?」

のびた「う、後ろ・・・」

スイッチン？

後ろにはパジャマを着たクロウドが鬼神の顔をしておまけに背後に閻魔大王うつすら見える状態でやってきた

クラウド「ちよっとお話しようか？」

全員「すいません！！ごめんなさい！！もうしないから許してください！！！」

クラウド「だが断る、こっちにこい」

[illegible]

そして次の日――（次の話）はテスト当日

テストの問題を前もって知ってる奴は卑怯（後書き）

クラウド「やっちゃった・・・ソウルオーターのネタやっちゃった・  
」

## テストの前の糖分補給（前書き）

クラウド「今日は大雪だったなー・・・夜にね」

## テストの前の糖分補給

2月14日 AM 8:30

朝学習

今日はバレンタインデー

作者は朝に学校行って気づいた（笑）

クラウド「はゝこれからテストを始める」

全員「もう!？」

クラウド「・・・の前に今日バレンタインだから猪チョコ渡しとけ、おれも全校生徒&教師の分作ったから」

全員「そんなに作ったの!？」

ルフィ「まあ、チョコ食えればいいか」

銀時「糖分補給」（女から）チョコほしい!

クラウド「いやゝ作るの大変だったよ・・・1時間もかかった」

全員「ちよつと待て早すぎだろ!？化け物か!？」

クラウド「・・・化け物っていった奴チョコやんねえ」

全員「すいませんでしたー!ー!ー!ー!ー!ー!」

・  
なんで謝っているかというと・・・単に作者が料理がうまいから・・・

クラウド「ほら!みんな食え!」

全員「もぐもぐ・・・うまい!ー!」

ルフィ「うめえ!ー!」

ピーチ「絶対作ってやる!」↑無理だろう

ドルク「素直にうまい・・・」

フォック「おいしいゝ」

竜輝「うめえなこりやー!!」

テストはこの後どうなるのか・・・

## テストの前の糖分補給（後書き）

クラウド「節分の時に鬼編書こうとしたけど忘れてた・・・」

まず数学、これを解ければ超すごい 前編（前書き）

クラウド「これをとけるやつはいくらっかな」  
全員「嫌な予感・・・」

## まず数学、これを解ければ超すごい 前編

### 数学のテスト

クラウド「まずこの問題からだこれ解けたら50点」

竜輝「配点高いな」

ルフィ「といってやるぜ!!」

### 問題

3以上の自然数 $n$ に対して『 $X(n) + Y(n) = Z(n)$ 』を満たすような自然数は存在しない  
これを証明せよ

ほとんどの人「おい!!無理だろおおお!!」

クラウド「え?1995年に天才数学者ワイルズが証明するまで約360年間解けなくて

ワイルズも証明まで8年かかって合計130P<sup>ページ</sup>の2冊が証明に必要

だっただけじゃん」

フォック「これは無理iiiiiiii!!」

ドルク「とけるかああああ!!!!」

ラッシュ「さすがに無理だぞおおお!!」

レウト「どんな問題だあああ!!!!」

ダン「解けるやついるわけないだろおおお!!!!」

ミゲール「おれも当然の如くむりだあああああ!!!!!!」

クラウド「だらしがないなあ、あいつらをみる!!」

アトリ「簡単すぎてつまんない」

竜輝「簡単!簡単!おもしろーい!!」

全員「ええええええええええ!!?」

当然1部の人を除いて50点 -

まず数学、これを解ければ超すごい 前編（後書き）

クラウド「どうも！疲れた〜」

まず数学これを解ければ超すごい 後編(前書き)

クラウド「疲れる・・・主に肩的な意味で・・・」

## まず数学これを解ければ超すごい 後編

クラウド「さーてとあのボーナス問題は解けたのすくねえな」

全員「ボーナスだったの!？」

クラウド「あたりまえじゃないか」

ちなみにこの学校のテストは1時間で解けるだけ解くというシステム  
最後の方に行くたびに難しくなる

クラウド「よし始めるぞ」

ピーチ「きゃああああ!!!!!」

急に風が吹きスカートが・・・

クラウド「・・・・・・!!」

パシャパシャパシャパシャ!!!

すごい勢いで写真を取る

全員「あんた何してんだこの変態!!!」

クラウド「この写真を1枚300円 5枚で1000円で売ろう、  
買うか？」

変態共「ください!!!100枚!!」↑本物の変態

クラウド「毎度アリィいやこの系統は売れるね」

変態共「・・・・・・」ブシャアアアアアア!!!!!↑

鼻血

ぶっちゃけ金のためだった、クラウド

ピーチ「ちよつと私の許可は!？」

クラウド「マリオの着替え写真2枚」

ピーチ「もう!仕方ないわね!」ボタボタ↑鼻血

ここにも変態が一人

クラウド「まあとりあえずはじめるぞ！」  
全員「よし来い！……！」

テストは始まり皆けっこういい点取った

まず数学これを解ければ超すごい 後編（後書き）

クラウド「更新の時間が」

次は理科！ってそれ化学兵器の作り方じゃね？（前書き）

クラウド「更新があああ！！！！ネタがあああああ！！！！」

次は理科！ってそれ化学兵器の作り方じゃね？

次は理科のテストだ！

リオ「じゃあ行くわよー！はじめ！-！」  
バサッ！

いつせいにテストを表にする

第1問

濃塩酸3対濃硝酸1で出来る科学薬品は？  
また効果を答えなさい

第2問

細胞内のCa濃度を低下させ血管平滑筋を弛緩させる。  
そして血管膨脹を起こさせる化学薬品を答えなさい

全員「どっちも化学兵器じゃないか！-！」

リオ「そう？私はいつも持ち歩いてるわよ？」

ラッシュ「ちょ！第2問のやつも持ち歩いてるっていいませんよね  
！？」

リオ「持ち歩いてるわよ？」

竜輝「揺らしたら危ないですよ！？」

リオ「大丈夫よ、ちゃんと固定してるから、さあさあテストに戻り  
なさい！」

全員「はい」

それ以降は真面目な問題だった

次は理科！ってそれ化学兵器の作り方じゃね？（後書き）

クラウド「第1問と第2問の答えです」

第1問

王水・・・圧倒的な酸化力と腐食力で金をも溶かす

第2問

ニトログリセリン・・・8℃で凍結14度で解ける爆薬

クラウド「・・・なんかこういう知識だけは豊富なんだよなあ」

歴史！これマニアでも分からないって・・・（前書き）

クラウド「歴史は・・・知識が薄い・・・」

歴史！これマニアでも分からないって・・・

大原「これから歴史のテストを始める！」

全員「オーーーーー！！！！」

大原「カンニングは許しまへんでえ！」

ミゲール「忍○ま乱○郎の食堂のおばちゃん!?」

デイン「細かい事は気にしない方がよさそうだヨ・・・」

大原「よし！はじめ！！」

## 第1問

恐竜はどう絶滅したか色々な説があるがその説を3つ答えなさい  
また本当はどう絶滅したかを書きなさい

シルム（今回はちゃんとした問題だな）

ルフィ（どうやって絶滅したんだっけ？）

アトリ（楽勝だぜ！！去年ニュースでやってたしな！）

## 第2問

新渡戸稲造の血縁関係のある子孫に近い人を1人答えなさい

全員「ちよつと待てやあああああ！！？」

大原「なんだ？」

クレス「これ無理だろ！？新渡戸稲造の息子？（息子が娘か忘れた）  
つて養子だろ！？」

清麿「つぶ！俺ならわかるぜ！答えを出すもの（アンサーカード）  
の能力でな！！」

全員「卑怯だぞ、てめええええ！！！！答え教えろやあああああ！！  
！！」

清麿「やだね！！」

第2問は何人が除いて不正解となった  
その後例の如くちゃんとした問題が出た

歴史！これマニアでも分からないって・・・（後書き）

クラウド「この回の正解です」

第1問

氷河期説、隕石説、火山活動説など

最近になって隕石が落ちてきて温度が低下した事が分かった

第2問

・・・俺

クラウド「え」と信じられないかもしれないんですけど俺のひいひいばあちゃん弟が新渡戸稲造だそうです、だから血縁関係、子孫・じゃないか」

次国語〜作者は国語が苦手〜（前書き）

クラウド「国語無理です・・・」

## 次国語→作者は国語が苦手→

ぬぐべく「ほら席に着け・俺はカンニングしても文句は言わん」  
全員「いえーい！いい先生！！！」

ぬぐべく「・・・ただし鬼の手で幽体離脱したあと無に返してやる」  
全員「けつきよく・・・無理・・・」

ぬぐべく「まあけっこうまともなテストだからがんばれよ！はじめ  
！」

がさつ！皆テストをめくる

作者は国語が苦手なため、これと英語は小学生ＬＶでお送りいたします

以下の文字を読みなさい

魔人（ ）

鬼神（ ）

神獣（ ）

竜輝（テストの問題はチョットおかしいがまあいいか・・・）

エイト（けっこうまともだ・・・読み方はあれだけど・・・）

夜呂死苦（ ）

罰下絵無（ ）

創造主（ ）

異常（ ）

過負荷（ ）

全員「あてじですか！？最後の方はまともだけど！？」

ぬぐべく「これ覚えておいても損は無いぞ！」

全員「もういいや・・・」

国語はみんな点数が良かった・・・

次国語ゝ作者は国語が苦手ゝ（後書き）

クラウド「さあ久しぶりのまともな問題です！」

答え！

魔人 ましん

鬼神 きしん

神獣 しんじゅう

夜呂死苦 よろしく

罰下絵無 ばつゲーム

創造主 クリエイター

異常 アブノーマル

過負荷 マイナス

クラウド「でした！最後の方の元ネタわかるかな？」

英語です！ただし英文出てこない♪（前書き）

クラウド「ハイスクール奇面組がおもしろい！」

英語です！ただし英文出てこない♪

作者は英文は読めるがかけないので訳す問題しか出ません

スネーク「これから英語のテストを始める」

ラッシュ「英語なら大丈夫かな・・・」

スネーク「でははじめる・・・」

下の問題を訳しなさい

#### 第1問

これは祖母が愛用していた本棚です

#### 第2問

ぼくは1年2組に転校することになった生徒です

フォック（今回までもだな・・・）

エイト（いや3問目で変な問題が出るはずだ・・・気を引き締めよう）

#### 第3問

S：あなたは映画を見えていますか？

A：見ていません

一護（よし！まともだ・・・）

デイン（今回はまともだよったヨ！）

#### 第4問

ぼくは今親友を調教しています（ドイツ語で答えなさい）

## 第5問

私たちは今みんなで殺し合いをしています

全員「最後の最後でこれかよ!？」

スネーク「作者に言え!作者に!」

英語です！ただし英文出てこない♪（後書き）

クラウド「とりあえず調教だけ分かるので・・・調教だけ・・・」  
（ドイツ語）調教〃 D a s B r e c h e n

最後に体育！保健はいつてない！（前書き）

クラウド「春休みは楽しいなーーーー！！」

体育教師の記載を忘れていたのでのつけます

体育教師

アレックス・ルイ・アームストロング少佐（鋼の錬金術師）  
いや筋肉ムキムキじゃないですか↑それだけ！？

最後に体育！保健はいつてない！

少佐をいれているのは兄弟にオリヴィエ・ミラ・アームストロング少将がいるからです

（一応女性）

アームストロング少佐「これから体育のテストを始める！」

ちなみにジャージ、体育着などは各自着るのは自由なのでさまざまである

アイムス**トロング**少佐「テストは走り幅跳び、ハンドボール投げ、1万M走だ」

全員「いやチヨツトまでえ!？」

アームストロング少佐「なんであるか？」

全員「1万M走はおかしいだろう!？」

「アイムストロング少佐」さーてテストを始める」

全員「無視ですか!？」

とりあえず前の2個は問題なかったが・・・

ダン「き、きつい……」

竜輝「楽チン♪」

「ラッシュ、いいトレーニングだ」

ムヒヨ「ヒヒ！あとであいつ魔列車の刑だ・・・」

ロージー「アームストロングさん逃げてええええええええええ！！！！！」

人それぞれであつた

大半はリタイアしたけど・・・

最後に体育！保健はいいってない！（後書き）

クラウド「テスト終了！」

エイト「あとで体育教師にギガブレイクしてやる・・・」

## テストの結果発表！（前書き）

クラウド「祝！50話！いままで（まだ続くけど）ありがとう！」

## テストの結果発表！

クラウド「はい、テストの結果発表をする」

ルフィ「とりあえず0点じゃありませんよーに！」

清麿「アンサートーカーあるから1位だろう・・・」

クラウド「結果発表は・・・レイよろしく」

レイ「どうも！」

全員「だれだお前！？」

クラウド「弟だ」

全員「弟いたの！？」

レイ「とりあえず発表しまーす。0点の方は・・・」

ルフィ（おれじゃありませんよーに）

レウト（あたってますよーに）

レイ「0点のやつはのび太、スイッチ、安田の3人です、あとはセ

ーフ」

全員「よっしゃー！！！！！！！！！！」

レイ「次は1位の人・・・」

ラッシュ（1位だといいな）

竜輝（1位かな？）

レイ「黒神 めだかさんです」

めだか「うむ！」

全員「この人の存在忘れてた！？」

クラウド「はい賞品の遊園地のフリーパス、俺が死ぬまで有効だから」

めだか「よし！善吉いくぞ！」

善吉「たすけるおおおお！！！！」

「ついでに善吉は引きずられながら遊園地に行きました。」

テストの結果発表！（後書き）

クラウド「テスト編終了です」

## コスプレ大会開始！（前書き）

クラウド「次はカラオケ大会とかやってみようかな？」

カービー「歌う！」

レイ「やめてね！？」

## コスプレ大会開始！

クラウド「ゴホン！これからコスプレ大会をはじめます、ルール説明、レイよろしく！」

レイ「はい！ルールは・・・この大会は明日から1週間続きます！その間ならどんな格好してもいいですしその姿から変わってもいいです！」

全裸はお断りしますけど・・・」

クラウド「ちなみにその間は授業なし」

全員「まじで!？」

クラウド「まじだ、とりあえず楽しもう！」

全員「おーーう！」

そして明日・・・

エイト「フォックさんおはよーってクラウドの格好？」

フォック「おう！そういうお前は浦原の格好か？」

エイト「そうですよ！」

レイ「あ、二人ともおはよう！」

フォック「おはよう・・・おっ！竜騎士か？」

レイ「そうです！」

エイト「そういえばクラウドは？」

レイ「えーとあとで来るって言ってました・・・」

ミゲール「おーみんなコスプレしてるね！」

エイト「男鹿さんの格好？殴られますよ？」

男鹿「誰が殴るって？」

エイト「いたんだ・・・」

男鹿「俺の格好してるってことは・・・尊敬してるってことだろ！」

ミゲール「男鹿さんは・・・ペイジ？」

男鹿「魔法律って面白そうだからな！」

続く・

## コスプレ大会開始！（後書き）

クラウド「ということで・・・これやってる間は何回でも変更可能で  
すので・・・どうぞ書き込みください・・・感想で」

コスプレ大会！？（前書き）

クラウド「はい！リクエストキャラ登場！」

## コスプレ大会！？

レイ「しかし・・・兄さんはどこに・・・」

クラウド「おーい・・・オラ！」

？「ゴフッ！」

レイ「なにしてるの・・・ってあー！！！！！！！！！！」

クラウド「おいクズなんでお前がここにいる」

仁「クズじゃない仁だ！楽しそうだからこっちに來たんだ！」

クラウド「オラ！」↑蹴り

仁「ゴフ！・・・あつてまもなく蹴るとはどんなモットーを持ってるんだ！」

クラウド「どこの・（マイナス）だ！？」

レイ「うるさいんでブラツクホールにいつててください」

仁「覚えてるオオオオオオ！！！！！！」↑吸い込まれた

クラウド「さて転校生を紹介しよう」

和貴「どうも！みやさし かずき宮里和貴です！よろしく！」

レイ「お！レオンの格好か！」

バイオハザード2、4のレオンです、キングダムハーツのレオンじゃありません、スクールでもないです

和貴「そうです！」

レイ「兄さん・・・コスプレしてないじゃん」

クラウド「あ・・・忘れてた・・・着てく」

アテネ「ちよつと！なんでこれ着ないのよ！」

クラウド「やばい！レイあとで会お」ガシッ

アテネ「捕まえた♪」

クラウド「やめろ！あれは着たくない！ぎゃあああああ！！！！！！！！！！」

エイト「クラウドにもかなわないのいたんだ・・・」

レイ「虫とアテネには逆らえないですからね・・・」

10分後

アテネ「つれてきたわよー」

クラウド「うううう・・・／＼」

レイ「・・・おもったけどいつも女物着せるのはどうかと・・・」

アテネ「だって・・・メイド服似合うし・・・」

クラウド「いつも恥ずかしいんだよ!」

続く

コスプレ大会！？（後書き）

クラウド「べるぜバブの10巻が欲しい・・・」

コスプレ大会！っゝさあさあ飲め飲めゝゝ（前書き）

クラウド「……………のどかわいた」

## コスプレ大会！さあさあ飲め飲め

あのと・・・クラウドは違うコスプレ（セフィロス）に着替えた和貴「ふーしかしのどが渴きましたねー」

レイ「そうだね・・・」

エイト「飲み物もって来るね！」

アテネ「もってきたよーブドウジュースー！」

ちなみにアテネは保健室の死神の鈍にぎろのコスプレ

クラウド「サンキュー貰うわ」

レイ「僕も！」

男鹿「うまそうだから貰うわ！」

ということ全員とって

クラウド＆レイ「ゴクゴクゴクゴク・・・」

エイト「・・・ちよつと待てこれ酒じゃないか？」

アテネ「そうだけど？いいワインよ？」

エイト「そういう場合じゃなくてですね・・・」

？「オラ、何とか言えよ、銀髪」

ククール「ゴフ！グハッ！ゲホー！！」

エイト「？ちよ！？ククール大丈夫か！？ていうかレイどうした！？」

アテネ「なるほどこんな性格になるのか」

エイト「実験しないでください！ああ！！ちよ！レイさんしっかりしてー！！」

ドルク「おーい、どうした？」

エイト「シャウトモンのコスプレですか・・・ってドルクはレイとめてー！！」

ドルク「おうよー！」

レイ麻痺、一時退場

エイト「ふう・・・とりあえず安心・・・」

ミゲール「・・・ちよつとまってクラウドはどうすんの」

和貴「やばくない！？あんぐらい暴走してたら！！」

アテネ「世界が破滅するわね・・・」

？「シクシクシクシク・・・」

フォック「ん？これは・・・」

クラウド「生まれてきてごめんなさい、誤解解けなくてごめんなさい、負の存在でごめんなさい、神様達の空気を汚してごめんなさい・

・  
」

全員「クラウドお前に何があつたんだあああああ！！！！」

クラウド「ドSでごめんなさい、外道でごめんなさい、命令してごめんなさい、死ねなくてごめんなさい、何もまもれなくてごめんなさい・・・」

エイト「えっ！？ちよあれなに！！」

アテネ「酒飲んだらあんなに性格かわるの！？」

フォック「あんなクラウドさん見たくないよ！？」

クラウド「馬鹿でごめんなさい、皆さんの空気を汚してごめんなさい、牢獄破つて逃げてごめんなさい、父さん母さん俺のせいで死んでごめんなさい、うわあああああ！！！！！！！！！！」↑ナイ

フで自分の胴体刺す

ドルク「ストップな！！」

エイト「フォックさん！！」

フォック「麻痺って一時退場！！」

クラウド麻痺、一時退場

エイト「・・・あんなのもう絶対みたくないんだけど」

ミゲール「ていうか普段あんなのになぜああなる？」

アテネ「多分日ごろからずつとあんなの溜め込んでいるんじゃない？」

「イト」とりあえず・・・今度からちょっとやわしくしよつぜ」  
全員「賛成」

コスプレ大会！っゝさあさあ飲め飲めゝゝ（後書き）

クラウド「肩が痛い！！！！！！！」

コスプレ大会！？？？なんたって今日はチビの誕生日だぜ（前書き）

クラウド「長らく更新を停止してしまい誠に申し訳ございませ  
んでした

これから【マスター学校のハチャメチャ生活！？】を愛読くだ  
さい」

コスプレ大会！？！なんたって今日はチビの誕生日だぜ！

クラウド「うゝんなんか頭が痛い・・・」

レイ「僕もなんか痛い・・・」

エイト「そうか大丈夫か？（あんなことあったなんて絶対いえない！！）」

ドルク「まあゆっくり休め（マジであれば恐かった・・・もうみたくなえ）」

とまあある程度落ち着きをとりも度してきた時に・・・

ノエル「やあみんな・・・気分はどうだい・・・」

アマテラス「・・・どうもこんにちは・・・」

クラウド「ん？ああ転校してきたんだっけ」

フォック「よろしく」

ドルク「よろしくな！」

ミゲール「よろしく！！」

ノエル「・・・ああ」

超落ち込んでいるノエル『火霊使いヒータver』の格好をしてや  
つてきた（藤龍さんからです）

そして超落ち込んでいるアマテラス『女将ver』の格好をしていた  
（ハボツクさんからです）

フォックさんは『アスベル』の格好に変更してミゲールは『銀時』  
の格好に変更した

クラウド「なんていうか・・・」

レイ「その・・・」

エイト「なんだ・・・」

クラウド&レイ&エイト「似合ってるな」

アマテラス&ノエル「好きでこんな格好してるわけじゃないわああ  
あああ！！！！？」

クラウド「だろうな・・・ノエルはどうせ藤龍さんだろ?・・・あと写真とつていい?」

レイ「そうだろうね・・・ていうか何で写真撮るの?」

クラウド「十中八九そうだろうな・・・生着替え写真でもあればいいんだけど・・・」

全員「何する気だ!?!」

クラウド「そりゃ・・・売れるだろう、男の娘が2人いるんだぞ!?!稼ぎ時だろう!?!」

アマテラス「いやちよつとやめて!?!お願いだから!?!」

ノエル「そうだよ!本物だと思われちゃうじゃん!?!」

クラウド「えーとノエル君は昔オト『わあー!?!わかったいいから!?!』OK」

レイ「どこでそのネタ仕入れるの?(ばらされかける前にOKだしたほうがいいよ)」

アマテラス「・・・やっぱだしていいよ(サンキューレイ)」

クラウド「よしよし・・・これで・・・BOSS(本)が買える」

全員「お前金持ちだろうがああああああ!?!!?!!?!」

全員の声がコダマした

コスプレ大会！っゝなんたって今日はチビの誕生日だぜゝ（後書き）

クラウド「はい・・・いつもよりは長いんです」

## コスプレ大会！〜FINAL〜全員騒げ♪（前書き）

クラウド「ながらく、更新を停止して・・・申し訳ございませんでした！」

## コスプレ大会！〜F A I N A L〜全員騒げ♪

クラウド「いやー・・なかなか売れたよ」

俺は前回とったノエルとアマテラスの写真を売って喜んでいた

レイ「どれくらい売れたの？」

クラウド「アマテラスは100万枚で1000万、ノエルは30億枚で10億」

全員「スゲエ！？つーかどんだけ売れたの！？」

クラウド「思いのほかシヨタコンが多かったな」

ノエル&アマテラス「そっちですか！？」

クラウド「まあ、まあ・・」

レイ「兄さんそろそろ時間だよ」

クラウド「そつか！じゃあみんなでポーカーやろうぜ！」

全員「おー！！」

そしてフォックさん、ドルク、クラウド、レイ、ノエル、ミゲールによるポーカー

レイ「コール」

クラウド「レイズ（上乗せ）だ」

ノエル「さらにレイズ」

フォック「コール」

ドルク「コール」

ミゲール「コール」

手としては・・

レイ「2ペア」

ノエル「フラッシュ」

ミゲール「3カード！」

ドルク「・・俺は4カードだ！！」

フォック「おれはもつとすごいぞ・・ロイヤルストレートフラッシュ

ユだ！」

全員「おおー！！！！」

クラウド「おれもロイヤルストレートフラッシュだ」

全員「なについ！？」

ノエル「この場合どっちが勝ちなんだ？」

フォック「えーと・・わからん」

クラウド「フォックさんがハートだから俺の勝ちだよ」

ミゲール「なんで？」

クラウド「俺スピードだから、ハートとスピードだとスピードの勝ちだよ」

こうしてポーカー勝負でコスプレ大会は幕を閉じたのであった

## そうだカジノを作ろう（前書き）

クラウド「もうすぐ期末テストなんで・・・更新速度がカメレオンになります」

カメレオンは亀よりのろいです

そうだカジノを作ろう

俺は思った

クラウド「カジノを作ろう」

エイト「いやいきなりなにいつてんの？」

しかたないじゃないか、やりたくなつたんだから

クラウド「ということで作ってくるわ」

レイ「敷地もうないでしょ」

いやそうだけど・・・

クラウド「そんなもん土地を買収すればOKだ」

つーことで1週間後

クラウド「できましたー！！」

全員「でかくね！？つーかここどこ！？」

敷地：バチカン1つ分

カジノ内部：バックギャモン

ポーカー

ルーレット

セブンブリッジ

ブラックジャック

ババ抜き

スロット

パチンコ e t c

カジノ外部：ホテル

ゴルフ場

プール

ボウリング e t c

その他特徴：敷地が足りないため、惑星ひとつ買収し建設  
移動のため学園内にワープ装置設置

建設費：建設料：1000億円 設備代：100億円

クラウド自作のワープ装置：10兆円

クラウドの私物持込：プライスレス

クラウド「コインは最初10000円分全員に配ってやる」

アレン「そんなにですか！？これで借金を！！」

クラウド「いいわすれていたが………イカサマしたやつは……地獄の拷問フルコースだ」

アレン「……」ズーーン

ラビ「落ち着くさ……アレン、というか、イカサマしたらだめだからな」

クラウド「ということで……お楽しみください！！」

カジノ営業スタート

ギャンブルでイカサマは禁物（前書き）

クラウド「土日、部活休みです!!」

## ギャンブルでイカサマは禁物

現在、このカジノは混沌<sup>カオス</sup>になっている  
もう調和<sup>コスモス</sup>の欠片もないのである

なぜなら・・・

カービー「あー！！あたんない！！」

メタナイト「ラビット・ナボコフで全部すったああ！！！！」

説明しよう！ラビット・ナボコフとは20世紀少年であったギャンブルである！

ギャンブル性が高く、イカサマをしやすいゲームなのである！  
ちなみにうまくやれば元金の100倍まで増やせるのである！  
クロウド「ちなみに借金もできるぞ・・・ああ利子は普通だから・・・」

レイ「闇金みたいなまねはしないよ」

カービー&メタナイト「貸して！」

とまあこのようになっているまさに混沌<sup>カオス</sup>

一方・・・

フォック「赤に1000円だ！」

ミゲール「おれも赤に1000円だ！」

ドルク「9、10、11番に1000円ずつ！！」

アテネ「黒に1900円！」

こちらルーレットをやっていた

ディーラーは・・・

聖徳太子「フフフ・・・では回すぞ！」

すつつつこい久しぶりの登場の聖徳太子だ

ちなみに聖徳太子の《ハーブの香り》絶賛発売中（在庫100万枚）

カラカラカラカラ・・・カタ

入ったのは・・・

聖徳太子「フム・・・9番だな」

勝ち組「イエーイー！！！！！」

負け組「なんだと・・・」

アテネは戦の神の癖にギャンブルなどの勝負事に弱かった・

そのまた一方

クラウド「・・・・・・・・・・」

現在作者は何をしているかというところ・・・

ポンポンポンポン！！

クラウド「777777だ！！」

スロットをしていた(5面)

ちなみにこれは100コインスロット

777777は100000倍なので・・・

クラウド「100万円もうかり！！」

アレン「よっしゃー！！！！10万円儲かったー！！！！」

アテネ「もうやだ・・・」

こちら負け、勝ちの差がはげしいようだ

ちなみにスロットは3面、100面まである

100面はトリコにでていたものと同じと考えて欲しい

ちなみに1コインから10倍ずつあがっていくので最終的には100万スロットまである

カジノはまださまざまな欲望が渦巻いていた

ギャンブルでイカサマは禁物（後書き）

クラウド「最近・・・たつときに腰が痛い・・・」

一方・・・NOTギャンブル組は・・・

こちらはゲームセンターである

ギャンブルに疲れた人が利用するのである・・・

メンバー的には子供がたくさんいる

リュカ「うわ！？虫だ！」

ネス「落ち着け！あれはテラーバイトだ！あのタイプにはマシンガンだ！」

リュカ「倒したけど扉が開かないんだけど！？」

ネス「それはムービーだから！落ち着け頼むから！」

わかる人にわかるであろう

タイムクラ○シス4の冒頭部分である

ちなみに他には・・・

スネーク「おい！こいつ死なんぞ！」

スネーク「おちつけ息子よ！あれは頭を撃てば死ぬんだ！」

こちらはスネークとスネーク・・・ってややこしい！

ネイキッドスネークとソリッドスネークがハウス・オ○・○・デッド2している

リキッドとソリダス？ギャンブルやってるよ

メイリン

美鈴はエステ、オセロットは射撃場、シギントは武器開発、パラメディックはギャンブルで稼いだ金で薬品を購入、エヴァはギャンブル中、オタコンはナオミと（放送禁止）中だしほかのMGSキャラも各自いろいろやってる

一護「平和だな・・・」

石田「そうだな黒崎」

こちらもゲーセンのカウンターでジュースを飲んでいる

ゼロ少佐「誰だ私の紅茶を飲んだやつは！？・・・ああ！クラッカー

もなくなってるじゃないか!!」

ジ・エンド「フスー……（光合成中）フスー……（光合成中）」

ザ・ボス「私のパトリオットはどこだ!？」

玄野「ガンツソードが盗まれたああ!!!」

ある意味こつちもカオスであった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1699o/>

---

マスター学校のハチャメチャ生活！？

2011年12月17日19時47分発行